バージョン 1.0
2019 年 5 月発行
Copyright©2019 ASRock INC. 無断複写・転載を禁じます。

著作権について：

当文書のいかなる部分も、ASRock の書面による同意なしに、バックアップを目的とした購入者による文書のコピーを除いては、いかなる形式や方法によっても、複写、転載、送信、または任意の言語へ翻訳することは禁じます。

当文書に記載されている製品名および企業名は、それぞれの企業の登録商標または著作物であることもあり、権利を侵害する意図なく、ユーザーの便宜を図って特定または説明のためにのみ使用されます。

免責事項：

当文書に記載されている仕様および情報は、情報提供のみを目的として付属されており、予告なく変更する場合があります。その整合性や正確性について、ASRock がなんらの確約をするものではありません。ASRock は、当文書での誤記や記載漏れについて一切の責任を負いかねます。

本文書の内容について、ASRock は、明示的にも黙示的にも、黙示的保証、商品適格性、または特定目的への適合性を含む、いかなる種類の保証もいたしません。

いかなる状況においても、たとえ ASRock が当文書や製品の欠陥や誤りに起因する損害の可能性を 事前に知らされていたとしても、ASRock、取締役、役員、従業員、または代理人は、いかなる間接的、専門的、偶発的、または必然的な損害（利益の損失、事業の損失、データの損失、事業の中断などを含む）への責任を負いかねます。

この装置は、FCC 規則のパート 15 に準拠しています。操作は以下の 2 つの条件に従います：

(1) 本装置は有害な干渉を発生しない。および
(2) 本装置は、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信したすべての干渉を受け入れる。

米国カリフォルニア州のみ

このマザーボードに採用されたリチウム電池は、カリフォルニア州議会で可決されたベストマネジメントプラクティス（BMP）で規制される有害物質、過塩素酸塩を含んでいます。米国カリフォルニア州でリチウム電池を廃棄する場合は、関連する規制に従って行ってください。
「過塩素酸塩物質 - 特別な処理が適用される場合があります。詳しくは、www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate をご覧ください」

ASRock ウェブサイト： http://www.asrock.com

オーストラリアのみ

弊社の製品にはオーストラリア消費者法の下で除外できない保証が付いています。購入者は、重大な故障に対しては交換または返金、および、その他の合理的に予見可能な損失または損害に対しては補償を受ける権利を有します。また、製品が許容できる品質を満たさない場合、または、故障が重大な故障にあたらない場合は、購入者は製品を修理または交換する権利を有します。ご不明な点がありましたら ASRock までお問い合わせください：電話番号 +886-2-28965588 内線 123 （標準的な国際通話料金が適用されます）

HDMI® および HDMI ハイデフィニションマルチメディアインターフェース、ならびに HDMI のロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

内容

第 1 章　はじめに 1

1.1 パッケージの内容 1

1.2 仕様 2

1.3 マザーボードのレイアウト 6

1.4 I/O パネル 8

第 2 章　取り付け 10

2.1 CPU を取り付ける 11

2.2 CPU ファンとヒートシンクを取り付ける 14

2.3 メモリモジュール (DIMM) を取り付ける 15

2.4 フロントパネルオーディオヘッダーの接続 17

2.5 I/O パネルシールドを取り付ける 18

2.6 マザーボードを取り付ける 19

2.7 SATA ドライブを取り付ける 20

2.8 グラフィックスカードを取り付ける 22

2.9 周辺機器を接続する 24

2.10 電源コネクタを接続する 25

2.11 電源オン 26

2.12 ジャンパー設定 27

2.13 オンボードのヘッダーとコネクター 28

2.14 CrossFireX™ およびクアッド CrossFireX™ オペレーションガイド 36

2.14.1 2 枚の CrossFireX™ 対応グラフィックスカードを取り付ける 36

2.14.2 ドライバのインストールとセットアップ 38
2.15 M.2_SSD (NGFF) モジュール取り付けガイド (M2_1) 39
第 3 章 ソフトウェアとユーティリティの操作 42
3.1 ドライバをインストー c ルする 42
3.2 A-Tuning 43
3.2.1 A-Tuning のインストール 43
3.2.2 A-Tuning の使用 43
3.3 ASRock Live Update & APP Shop（ASRock ライブ更新と APP ショップ） 47
3.3.1 UI 概要 47
3.3.2 Apps（アプリ） 47
3.3.3 BIOS & Drivers（BIOS とドライバ） 50
3.3.4 設定 51
第 **4** 章 **UEFI** セットアップユーティリティ **52**
4.1 はじめに 52
4.2 EZ Mode (EZ モード) 53
4.3 Advanced Mode (アドバンスドモード) 54
4.3.1 UEFI メニューバー 54
4.3.2 ナビゲーションキー 55
4.4 Main (メイン) 画面 56
4.5 OC Tweaker (OC 調整) 画面 57
4.6 Advanced (詳細) 画面 68
4.6.1 CPU Configuration (CPU 設定) 69
4.6.2 Chipset Configuration (チップセット設定) 71

4.6.3 Storage Configuration (ストレージ設定) 74

4.6.4 Super IO Configuration（スーパー IO 設定) 75

4.6.5 ACPI Configuration (ACPI 設定) 76

4.6.6 USB Configuration (USB 設定) 78

4.6.7 Trusted Computing（トラステッド・コンピューティング) 80

4.7 Tools (ツール) 81

4.8 Hardware Health Event Monitoring (ハードウェア ヘルス イベント監視) 画面 83

4.9 Security (セキュリティ) 画面 89

4.10 Boot (ブート) 画面 90

4.11 Exit (終了) 画面 93

第 1 章　はじめに

ASRock B365M Pro4-F ズマザーボードは、ASRock の一貫した厳格な品質管理の下で製造された信頼性の高いマザーボードです。ASRock の品質と耐久性の取り組みに準拠した堅牢な設計を持つ、優れたパフォーマンスを提供します。

この文書の第 1 章と第 2 章には、マザーボードの説明とステップ毎のインストールガイドが記載されています。第 3 章には、ソフトウェアとユーティリティーの操作ガイドが含まれています。第 4 章には、BIOS セットアップの設定ガイドが含まれています。

マザーボードの仕様と BIOS ソフトウェアは更新されることがあるため、このマニュアルの内容は予告なしに変更することがあります。このマニュアルの内容に変更があった場合には、更新されたバージョンは、予告なく ASRock のウェブサイトから入手できるようになります。このマザーボードに関する技術的なサポートが必要な場合には、ご使用のモデルについての詳細情報を、当社のウェブサイトで参照ください。ASRock のウェブサイトでは、最新の VGA カードおよび CPU サポート一覧もご覧になれます。ASRock ウェブサイト http://www.asrock.com.

1.1　パッケージの内容

- ASRock B365M Pro4-F マザーボード (Micro ATX フォームファクター)
- ASRock B365M Pro4-F ズクイックインストールガイド
- ASRock B365M Pro4-F ズサポート CD
- 2 x シリアル ATA (SATA) データケーブル (オプション)
- 1 x M.2 ソケット用ねじ (オプション)
- 1 x I/O パネルシールド

1.2 仕様

プラットフォーム	· マイクロ ATX フォームファクター · 固体コンデンサ設計
CPU	· 第 8 世代と第 9 世代 Intel® Core™ プロセッサーに対応（ソケット 1151） · 最大 95W までの CPU に対応 · デジタル電源設計 · 8 電源フェーズ設計 · Intel® ターボブースト 2.0 テクノロジーをサポート
チップセット	· Intel® B365
メモリ	· デュアルチャンネル DDR4 メモリ機能 · 4 x DDR4 DIMM スロット · DDR4 2666/2400/2133 ノン ECC、アンバッファードメモリに対応 · ECC UDIMM メモリモジュールに対応（non-ECC モードで動作） · システムメモリの最大容量： 64GB · Intel® エクストリームメモリプロファイル（XMP）2.0 に対応 · DIMM スロットに 15 µ ゴールドコンタクトを採用
拡張スロット	· 2 x PCI Express 3.0 x16 スロット（PCIE1/PCIE3：x16（PCIE1）でシングル、x16（PCIE1）/ x4（PCIE3）でデュアル） * 起動ディスクとして NVMe SSD に対応 · 1 x PCI Express 3.0 x1 スロット (Flexible PCIe) · AMD Quad CrossFireX™ と CrossFireX™ をサポート
グラフィックス	· Intel® UHD グラフィックス内蔵ビジュアルおよび VGA 出力は、GPU に統合されたプロセッサーのみでサポートされます。 · Intel® UHD グラフィックス内蔵ビジュアルをサポート：AVC、MVC（S3D）および MPEG-2 Full HW Encode1 が装備された Intel® クイック・シンク・ビデオ、Intel® InTru™ 3D, Intel® クリアー・ビデオ HD テクノロジー、Intel® Insider™, Intel® UHD グラフィックス

	・DirectX 12 ・HWA エンコード / デコード： AVC/H.264、HEVC/H.265 8-ビット、HEVC/H.265 10-ビット、VP8、VP9 8-ビット、VP9 10-ビット（デコードのみ）、MPEG2、MJPEG、VC-1（デコードのみ） ・3 つのグラフィックス出力オプション： D-Sub、DVI-D、HDMI ・3 台のモニターに対応 ・HDMI 1.4 に対応、最大解像度 4K x 2K (4096x2160) @ 30Hz ・DVI-D に対応、最大解像度 1920x1200 @60Hz ・D-Sub に対応、最大解像度 1920x1200 @60Hz ・HDMI 1.4 ポートでオートリップシンク、ディープカラー（12bpc）、xvYCC、および、HBR（高ビットレートオーディオ）に対応（HDMI 対応モニターが必要です） ・DVI-D ポートと HDMI 1.4 ポートで HDCP 2.2 に対応 ・HDMI 1.4 ポートで 4K Ultra HD (UHD) 再生に対応
オーディオ	・7.1 CH HD オーディオ、コンテンツプロテクション付き（Realtek ALC892 オーディオコーデック） *7.1 CH HD オーディオを設定するためには、HD フロントパネルのオーディオモジュールを使用し、オーディオドライバを通してマルチチャンネルオーディオ機能を有効にする必要があります。 ・プレミアム・ブルーレイ・オーディオ・サポート ・サージ保護に対応 ・ELNA 製オーディオコンデンサ
LAN	・ギガビット LAN 10/100/1000 Mb/s ・ギガ PHY Intel® I219V ・Wake-On-LAN（ウェイク オン ラン）に対応 ・雷 / 静電気放電（ESD）保護に対応 ・エネルギー効率のよいイーサネット 802.3az をサポート ・PXE をサポート
リアパネル I/O	・1 x PS/2 マウス / キーボードポート ・1 x D-Sub ポート ・1 x DVI-D ポート ・1 x HDMI ポート ・2 x USB 2.0 ポート ・1 x USB 3.2 Gen1 Type-C ポート (10 Gb/s) （静電気放電（ESD）保護に対応）

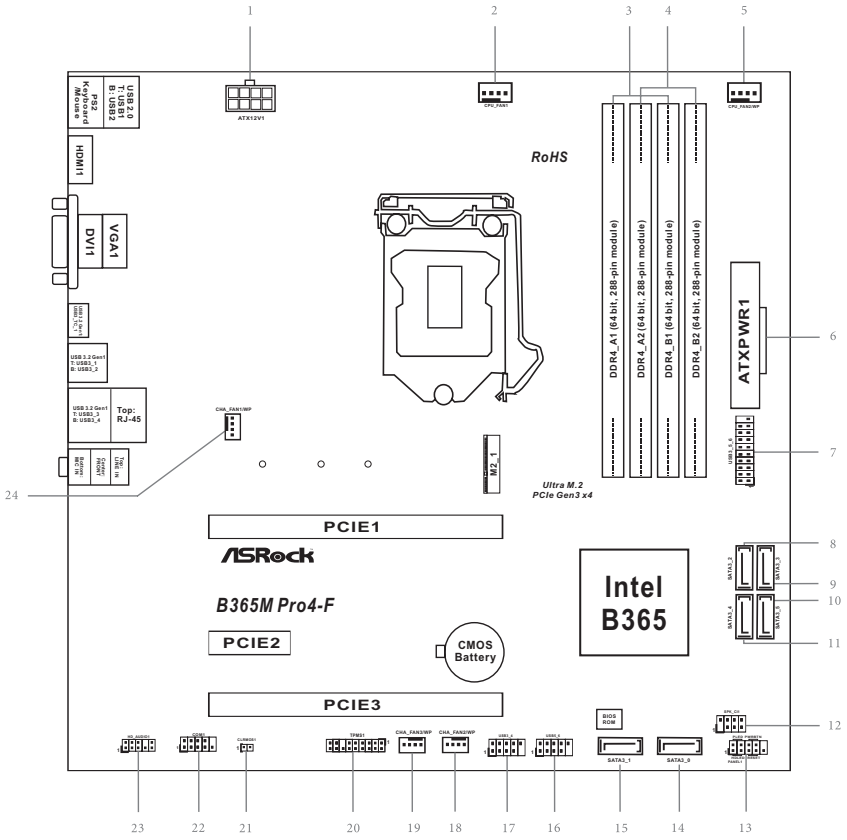
	・4 x USB 3.2 Gen1 ポート（静電気放電（ESD）保護に対応） ・LED 付き 1 x RJ-45 LAN ポート（ACT/LINK LED と SPEED LED） ・HD オーディオジャック：ラインイン / フロントスピーカー / マイク
ストレージ	・6 x SATA3 6.0 Gb/s コネクタ、RAID（RAID 0、RAID 1、RAID 5、RAID 10、Intel ラピッド・ストレージ・テクノロジー 17）、NCQ、AHCI およびホットプラグ機能に対応 ・1 x Ultra M.2 ソケット（M2_1）、M Key タイプ 2242/2260/2280、最大 Gen3 x4（32 Gb/s）までの M.2 PCI Express モジュールに対応 * * Intel® Optane™ テクノロジーに対応 * 起動ディスクとして NVMe SSD に対応 * ASRock U.2 キットに対応
コネクタ	・1 x COM ポートヘッダー ・1 x TPM ヘッダー ・1 x シャーシイントルージョンとスピーカーヘッダー ・1 x CPU ファンコネクタ（4 ピン） * CPU ファンコネクタは最大 1A（12W）の電力の CPU ファンに対応します。 ・1 x CPU/ ウォーターポンプファンコネクタ（4 ピン）（スマートファン速度制御） * CPU/ ウォーターポンプファンは最大 2A（24W）の出力のウォータークーラーに対応します。 ・3 x シャーシ / ウォーターポンプファンコネクタ（4 ピン）（スマートファン速度制御） * シャーシ / ウォーターポンプファンは最大 2A（24W）の出力のウォータークーラーに対応します。 * CPU_FAN2/WP、CHA_FAN1/WP、CHA_FAN2/WP および CHA_FAN3/WP は 3 ピンまたは 4 ピンファンが使用されているかどうかを自動検出できます。 ・1 x 24 ピン ATX 電源コネクタ ・1 x 8 ピン 12V 電源コネクタ ・1 x 前面パネルオーディオコネクタ ・2 x USB 2.0 ヘッダー（3 つの USB 2.0 ポートに対応）（静電気放電（ESD）保護に対応） ・1 x USB 3.2 Gen1 ヘッダー（2 つの USB 3.2 Gen1 ポートに対応））（静電気放電（ESD）保護に対応）

BIOS 機能	· AMI UEFI Legal BIOS、多言語 GUI サポート付き · ACPI 6.0 準拠ウェイクアップイベント · SMBIOS 2.7 サポート · CPU、DRAM、PCH 1.0V、VCCSA、VCCST 電圧マルチ調整
ハードウェアモニター	· 温度センシング： CPU、CPU/ ウォーターポンプ、 シャーシ / ウォーターポンプファン · ファンタコメータ： CPU、CPU/ ウォーターポンプ、 シャーシ / ウォーターポンプファン · 静音ファン（CPU 温度に従ってシャーシファン速度を自動調整）： CPU、CPU/ ウォーターポンプ、 シャーシ / ウォーターポンプファン · ファンマルチ速度制御： CPU、CPU/ ウォーターポンプ、シャーシ / ウォーターポンプファン · ケース開閉検知 · 電圧監視： +12V、+5V、+3.3V、CPU Vcore、DRAM、PCH 1.0V、VCCSA、VCCST
OS	· Microsoft® Windows® 10 64-bit
認証	· FCC、CE · ErP/EuP Ready (ErP/EuP 対応電源供給装置が必要です)

** 商品詳細については、当社ウェブサイトをご覧ください。 http://www.asrock.com*

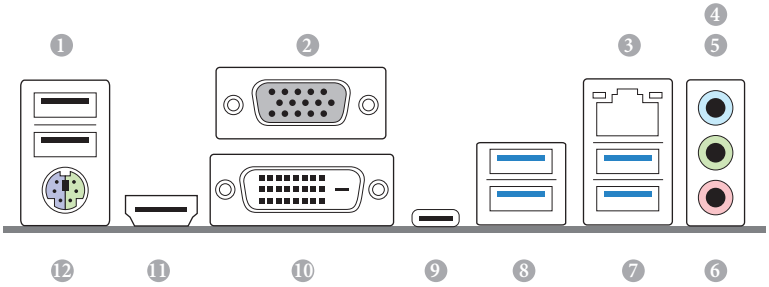
BIOS 設定の調整、アンタイドオーバークロックテクノロジーの適用、サードパーティのオーバークロックツールの使用などを含む、オーバークロックには、一定のリスクを伴いますのでご注意ください。 オーバークロックするとシステムが不安定になったり、システムのコンポーネントやデバイスが破損することがあります。 ご自分の責任で行ってください。 弊社では、オーバークロックによる破損の責任は負いかねますのでご了承ください。

1.3 マザーボードのレイアウト



番号	説明
1	ATX 12V 電源コネクタ (ATX12V1)
2	CPU ファンコネクタ (CPU_FAN1)
3	2 x 288 ピン DDR4 DIMM スロット (DDR4_A1、DDR4_B1)
4	2 x 288 ピン DDR4 DIMM スロット (DDR4_A2、DDR4_B2)
5	CPU/ ウォーターポンプファンコネクタ (CPU_FAN2/WP)
6	ATX 電源コネクタ (ATXPWR1)
7	USB 3.2 Gen1 ヘッダー (USB3_5_6)
8	SATA3 コネクタ (SATA3_2)
9	SATA3 コネクタ (SATA3_3)
10	SATA3 コネクタ (SATA3_5)
11	SATA3 コネクタ (SATA3_4)
12	シャーシイントルージョンとスピーカーヘッダー (SPK_CI1)
13	システムパネルヘッダー (PANEL1)
14	SATA3 コネクタ (SATA3_0)
15	SATA3 コネクタ (SATA3_1)
16	USB 2.0 ヘッダー (USB5_6)
17	USB 2.0 ヘッダー (USB3_4)
18	シャーシ / ウォーターポンプファンコネクタ (CHA_FAN2/WP)
19	シャーシ / ウォーターポンプファンコネクタ (CHA_FAN3/WP)
20	TPM ヘッダー (TPMS1)
21	クリア CMOS ジャンパー (CLRMOS1)
22	COM ポートヘッダー (COM1)
23	フロントパネルオーディオヘッダー (HD_AUDIO1)
24	シャーシ / ウォーターポンプファンコネクタ (CHA_FAN1/WP)

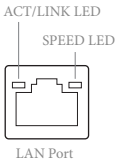
1.4 I/O パネル



番号	説明	番号	説明
1	USB 2.0 ポート (USB12) *	7	USB 3.2 Gen1 ポート (USB3_3_4)
2	D-Sub ポート	8	USB 3.2 Gen1 ポート (USB3_1_2)
3	LAN RJ-45 ポート **	9	USB 3.2 Gen1 Type-C ポート (USB3_TC_1)
4	ライン入力 (明るい青色) ***	10	DVI-D ポート
5	フロントスピーカー (ライム色) ***	11	HDMI ポート
6	マイクロフォン (ピンク色) ***	12	PS/2 マウス / キーボードポート

** USB1 は補助電源 (+5VSB) を使用します。その他の USB ポートはデュアル電源 (+5VDUAL) を使用します。USB1 は USB タイプのスピーカーとヘッドセットの接続に最適です。*

*** 各 LAN ポートにそれぞれ 2 つの LED があります。LAN ポートの LED 表示については下の表を参照してください。*

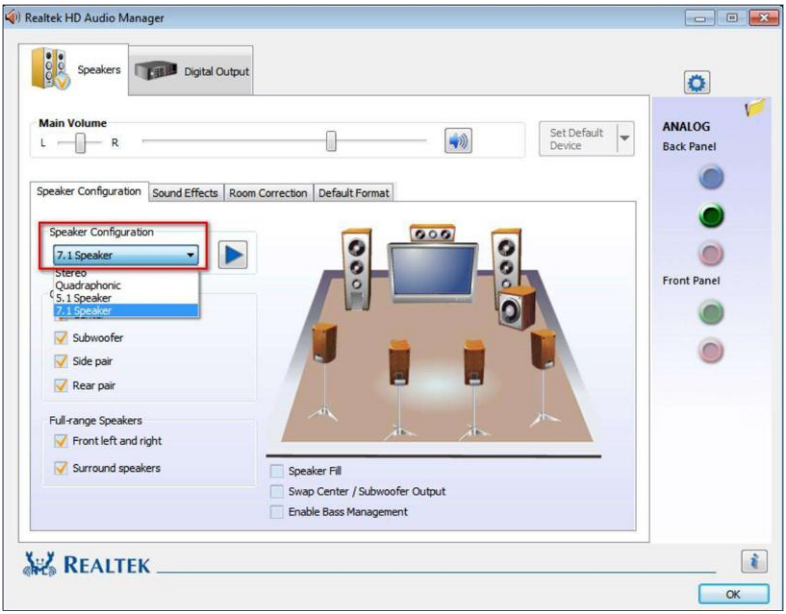


アクティビティ / リンク LED	
状態	説明
消灯	リンクなし
点滅	データアクティビティ
点灯	リンク

速度 LED	
状態	説明
消灯	10Mbps 接続
オレンジ色	100Mbps 接続
緑色	1Gbps 接続

**** 7.1 CH HD オーディオを設定するためには、HD フロントパネルのオーディオモジュールを使用し、オーディオドライバを通してマルチチャンネルオーディオ機能を有効にする必要があります。*

Realtek HD オーディオマネージャでスピーカー設定を「7.1 Speaker」に設定してください。



7.1 チャンネル設定のオーディオポートの機能：

ポート	機能
明るい青色（リアパネル）	リアスピーカー出力
ライム色（リアパネル）	フロントスピーカー出力
ピンク色（リアパネル）	セントラル / サブウーファースピーカー出力
ライム色（フロントパネル）	サイドスピーカー出力

第 2 章　取り付け

これは Micro ATX フォームファクタのマザーボードです。マザーボードを取付ける前に、ケースに取付できるフォームファクター（サイズ）を確認し、マザーボードを取り付けることができることを確認してください。

取り付け前の注意事項

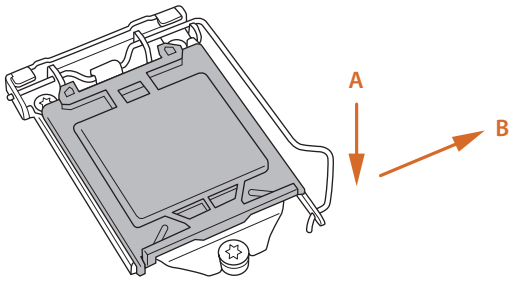
マザーボードコンポーネントを取り付けたり、マザーボードの設定を変更する前に、次の注意事項をよくお読みください。

- マザーボードを設置 / 取り外しをする場合は、必ず電源コードが抜いてください。電源コードが繋がれたままで作業を行うと、怪我をしたり、マザーボードが破損する可能性がございます。
- 静電気によってマザーボードの部品が破損することを防止するために、マザーボードはカーペットの上に置かないでください。また、静電気防止リストストラップを着用するか、または、部品を取り扱う前に静電気除去オブジェクトに触れてください。
- 基板の端をつかんでください。IC には触れないでください。
- マザーボードを取り外す場合は、取り外したマザーボードを接地した静電気防止パッドの上に置くか、商品に付属している袋に入れてください。
- マザーボードをシャーシに固定する為にねじを使う場合は、ねじを締め付けすぎないでください。ねじを締め付けすぎると、マザーボードが破損することがあります。

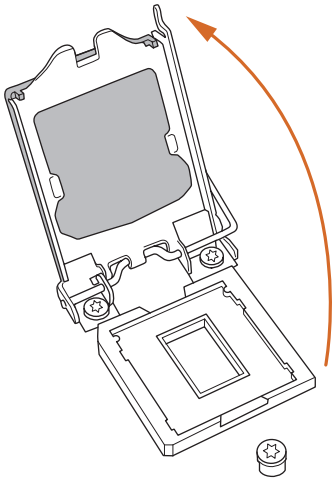
2.1 CPU を取り付ける

1. 1151 ピン CPU をソケットに挿入する前に、PnP キャップ がソケット上にあること、CPU 表面に汚れがないこと、または、ソケット内に曲がったピンがないことを確認してください。PnP キャップがソケット上になかったり、CPU 表面が汚れていたり、または、ソケット内に曲がったピンがある場合は、CPU を無理にソケット内に挿入しないでください。CPU を無理にソケット内に挿入すると、CPU の甚大な破損につながります。
2. CPU を取り付ける前に、すべての電源ケーブルを取り外してください。

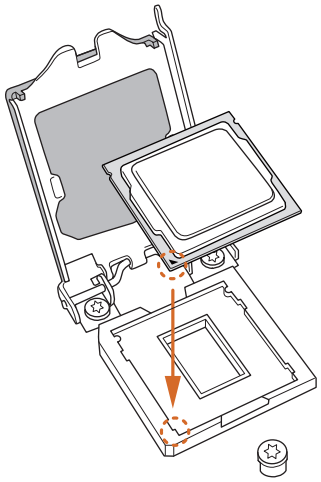
1



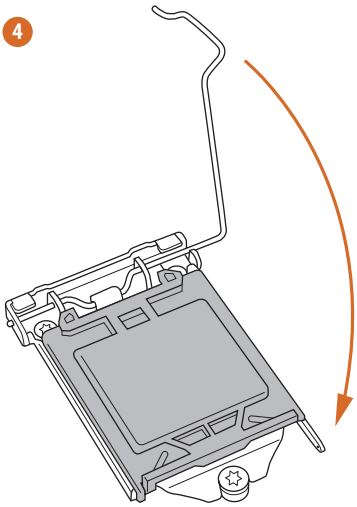
2



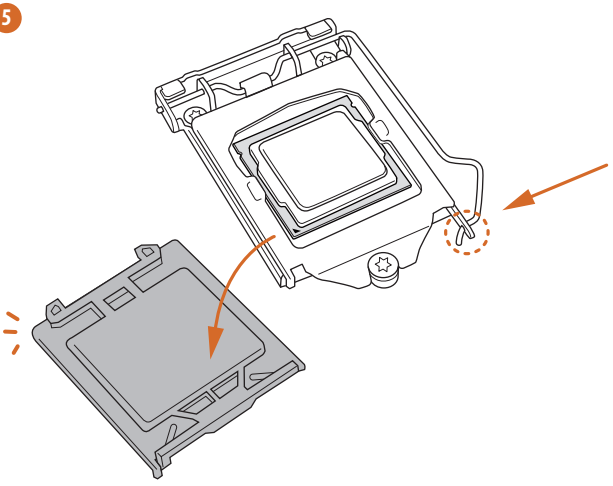
3



4

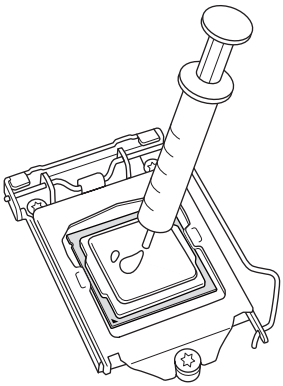


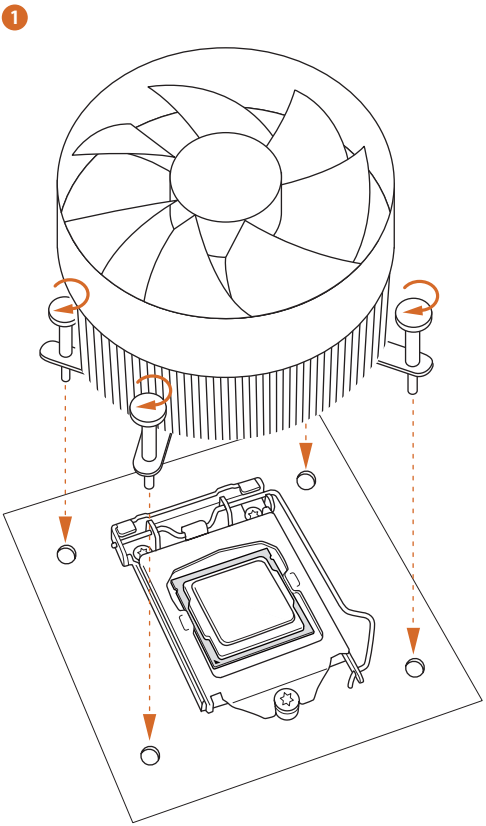
5

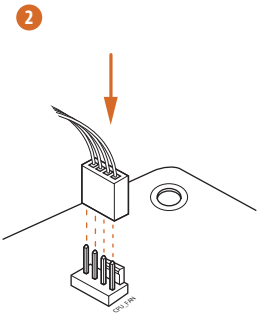


プロセッサーを取り外した場合は、カバーを保管して取り付け直してください。アフターサービスのためにマザーボードを返品する場合は、カバーを必ず取り付けてください。

2.2 CPU ファンとヒートシンクを取り付ける

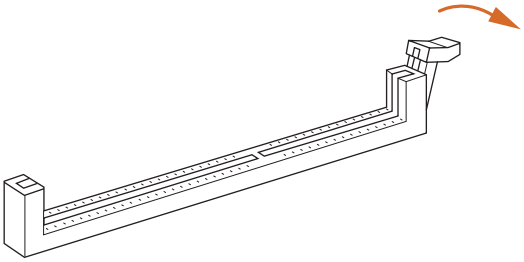




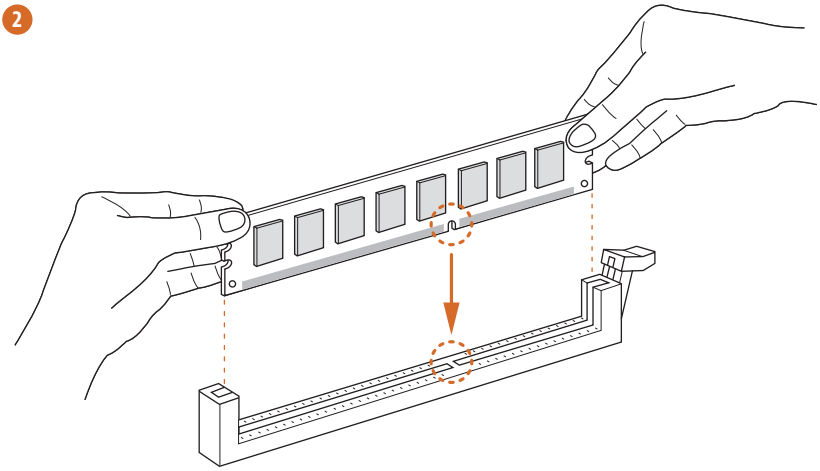


2.3 メモリモジュール (DIMM) を取り付ける

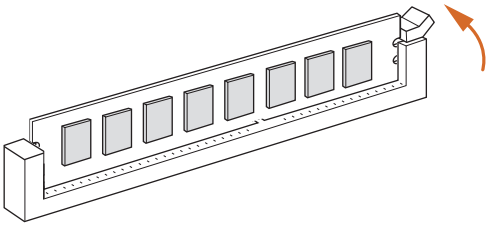
1



2



3



このマザーボードには 4 つの 288 ピン DDR4 (ダブルデータレート 4) DIMM スロットが装備されており、デュアルチャンネルメモリ技術に対応します。

1. デュアルチャンネルメモリ設定のために、同一 (同じブランド、同じ速度、同じサイズ、同じチップタイプ) の DDR4 DIMM を 1 組取り付ける必要があります。
2. 1 つまたは 3 つのメモリモジュールが取り付けられている場合は、デュアルチャンネルメモリテクノロジーを有効にできません。
3. DDR、DDR2 または DDR3 メモリモジュールは DDR4 スロットに取り付けることはできません。取り付けると、マザーボードと DIMM が破損することがあります。

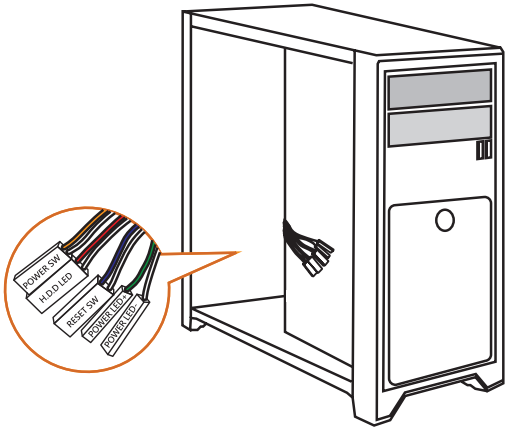
デュアルチャンネルメモリ設定

優先順位	DDR4_A1	DDR4_A2	DDR4_B1	DDR4_B2
1		実装済み		実装済み
2	実装済み	実装済み	実装済み	実装済み

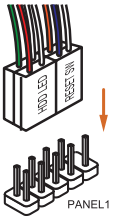
DIMM は 1 つの正しい方向にしか取り付けることができません。DIMM を間違った方向に無理に挿入すると、マザーボードと DIMM の損傷につながります。

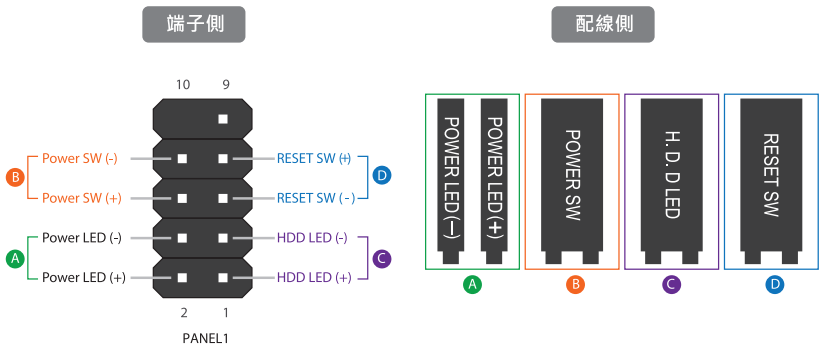
2.4　フロントパネルオーディオヘッダーの接続

1

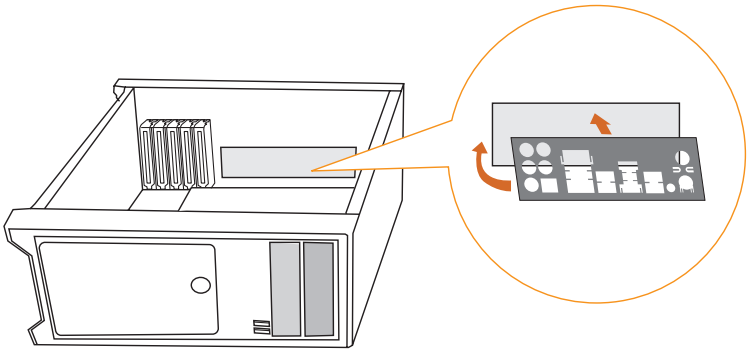


2

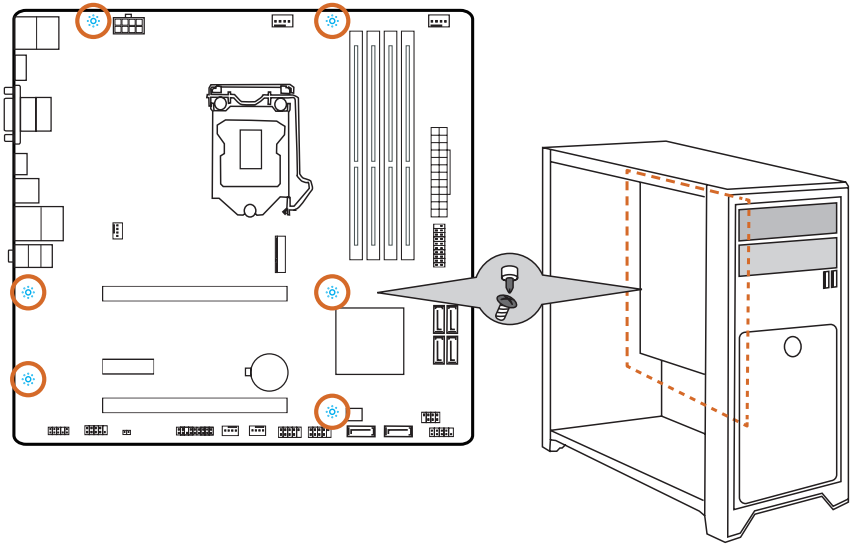




2.5　I/O パネルシールドを取り付ける



2.6　マザーボードを取り付ける

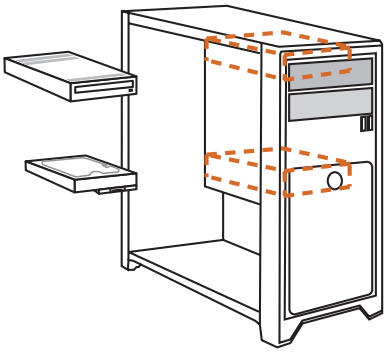


2.7 SATA ドライブを取り付ける

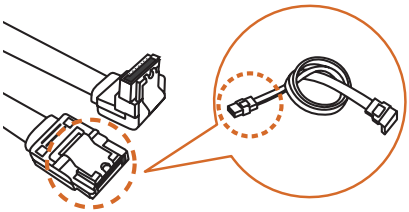
1

光学ドライブ

SATA ドライブ

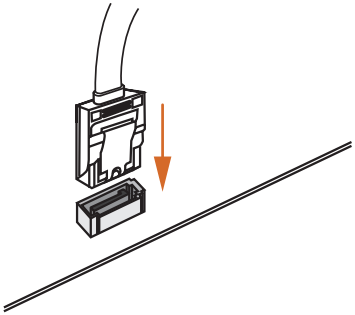


2

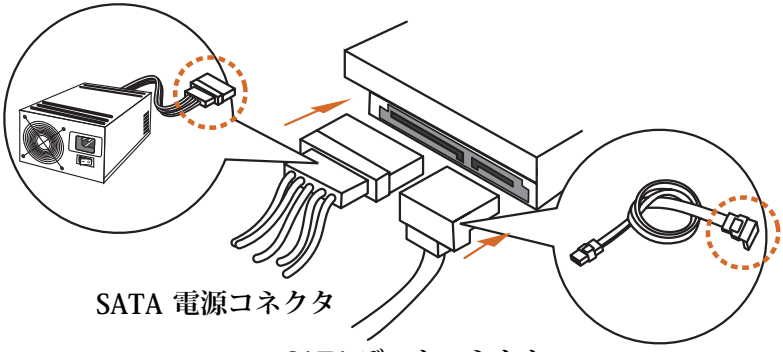


SATA データケーブル

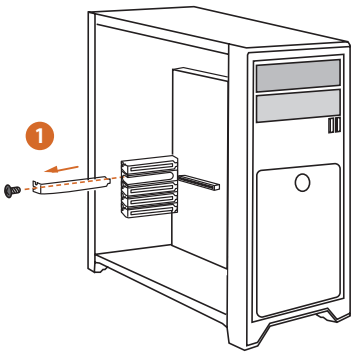
3

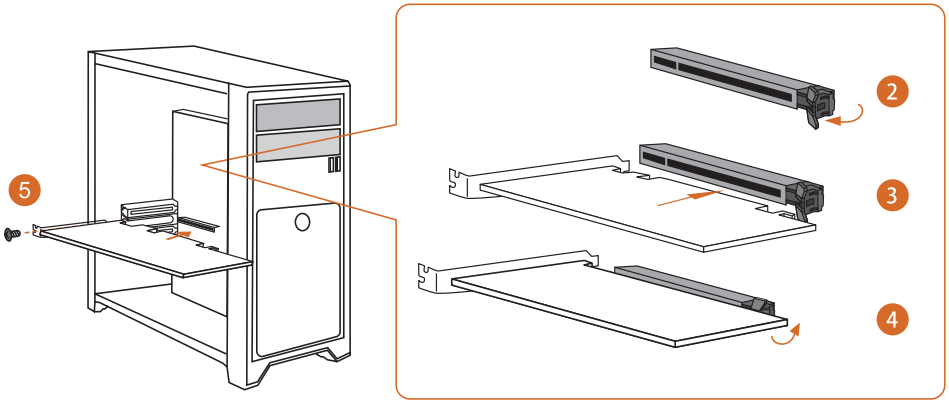


4



2.8　グラフィックスカードを取り付ける





拡張スロット（PCI Express スロット）

このマザーボードには 3 つの PCI Express スロットが装備されています。

拡張カードを取り付ける前に、電源供給が切断されていること、または、電源コードが取り外されていることを確認してください。 取り付け作業を始める前に、拡張カードに添付されている文書を読んで、カード用に必要なハードウェア設定を行ってください。

PCIe スロット：

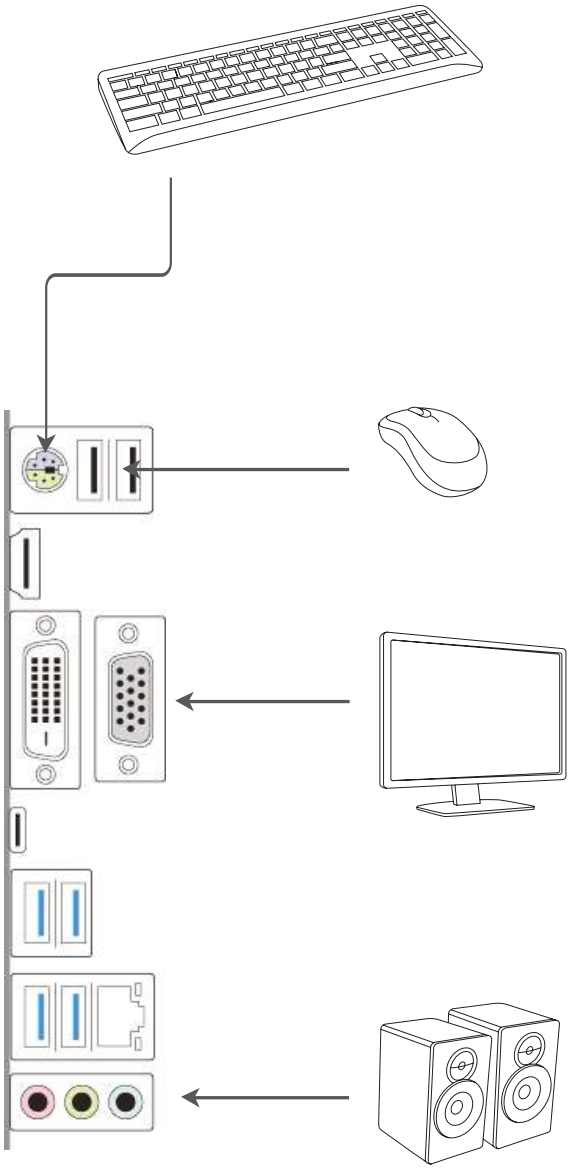
PCIE1（PCIe 3.0 x16 スロット）は PCI Express x16 レーン幅グラフィックスカード向けに使用します。
PCIE2（PCIe 3.0 x1 スロット）は PCI Express x1 レーン幅カード向けに使用します。
PCIE3（PCIe 3.0 x16 スロット）は PCI Express x4 レーン幅グラフィックカード向けに使用します。

PCIe スロット設定

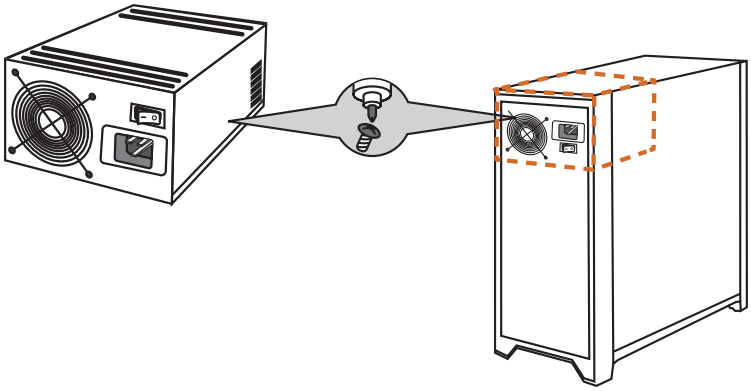
	PCIE1	PCIE3
シングルグラフィックスカード	x16	N/A
CrossFireX™ モードで 2 枚のグラフィックスカード	x16	x4

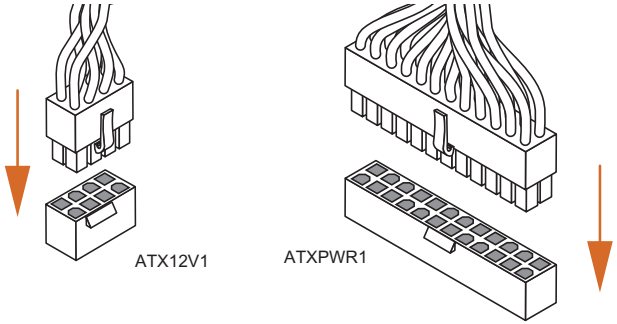
複数のグラフィックスカードを使用する場合は、サーマル環境を改善するために、シャーシファンをマザーボードのシャーシファンコネクタ（CHA_FAN1/WP、CHA_FAN2/WP または CHA_FAN3/WP）に接続してください。

2.9　周辺機器を接続する

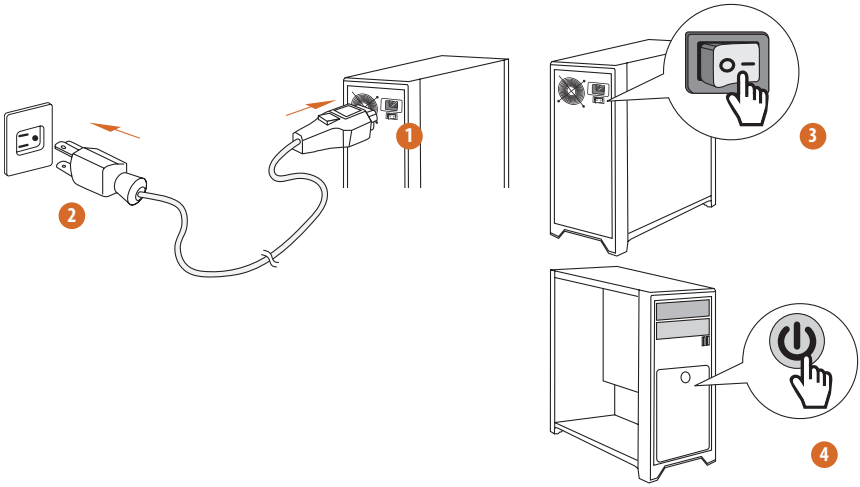


2.10　電源コネクタを接続する



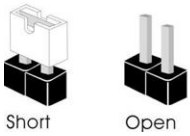


2.11　電源オン



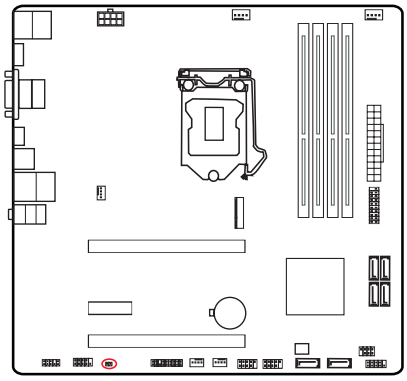
2.12 ジャンパー設定

このイラストは、ジャンパーの設定方法を示しています。ジャンパーキャップがピンに被さっていると、ジャンパーは「ショート」です。ジャンパーキャップがピンに被さっていない場合には、ジャンパーは「オープン」です。



クリア CMOS ジャンパ (CLRMOS1) (p.6、No. 21 参照)

CLRCMOS1 は、CMOS のデータをクリアすることができます。CMOS のデータには、システムパスワード、日付、時間、システム設定パラメーターなどのシステム設定情報が含まれます。消去して、デフォルト設定にシステムパラメーターをリセットするには、コンピューターの電源を切り、電源コードを抜き、ジャンパーキャップを使用して、CLRCMOS1 のピンに 3 秒間ショートします。CMOS をクリアした後は、ジャンパーキャップを取り外すのを忘れないようにしてください。BIOS をアップデート後、CMOS をクリアする必要があれば、最初にシステムを起動し、それから CMOS クリアアクションを行う前にシャットダウンしてください。



CLRMOS1

2 ピンジャンパー

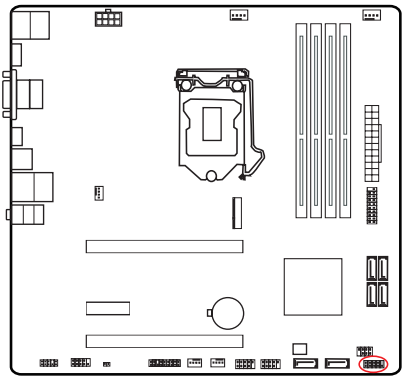
CMOS をクリアすると、ケースの開閉が検知されることがあります。以前のシャーシイントルージョンステータス記録を消去するには、BIOS オプションから「Clear Status (ステータスの消去) 」で調整してください。

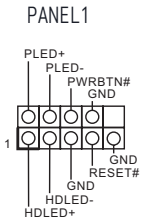
2.13 オンボードのヘッダーとコネクター

オンボードヘッダーとコネクターはジャンパーではありません。これらヘッダーとコネクターにはジャンパーキャップを被せないでください。ヘッダーおよびコネクターにジャンパーキャップを被せると、マザーボードに物理損傷が起こることがあります。

システムパネルヘッダー
(9 ピン PANEL1) (p.6、 No. 13 参照)

電源スイッチを接続し、スイッチをリセットし、下記のピン割り当てに従って、シャーシのシステムステータス表示ランプをこのヘッダーにセットします。ケーブルを接続するときには、ピンの + と - に気をつけてください。





PWRBTN（電源スイッチ）：
シャーシ前面パネルの電源スイッチに接続してください。電源スイッチを使用して、システムをオフにする方法を設定できます。

RESET（リセットスイッチ）：
シャーシ前面パネルのリセットスイッチに接続してください。コンピューターがフリーズしたり、通常の再起動を実行できない場合には、リセットスイッチを押して、コンピューターを再起動します。

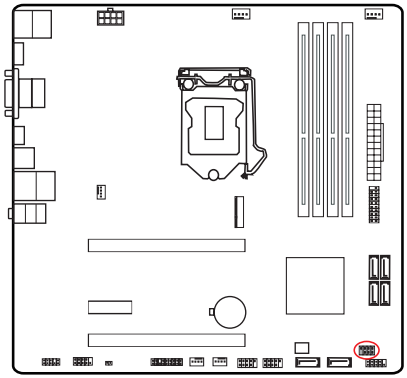
PLED（システム電源 LED）：
シャーシ前面パネルの電源ステータスインジケーターに接続してください。システム稼働中は、LED が点灯します。システムが S1/S3 スリープ状態の場合には、LED は点滅を続けます。システムが S4 スリープ状態または電源オフ（S5）のときには、LED はオフです。

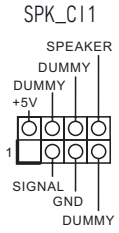
HDLED（ハードドライブアクティビティ LED）：
シャーシ前面パネルのハードドライブアクティビティ LED に接続してください。ハードドライブのデータを読み取りまたは書き込み中に、LED はオンになります。

前面パネルデザインは、シャーシによって異なることがあります。前面パネルモジュールは、主に電源スイッチ、リセットスイッチ、電源 LED、ハードドライブアクティビティ LED、スピーカーなどから構成されます。シャーシの前面パネルモジュールとこのヘッダーを接続する場合には、配線の割り当てと、ピンの割り当てが正しく合致していることを確かめてください。

シャーシイントルージョンとスピーカーヘッダー
（7 ピン SPK_CI1）（p.6、No. 12 参照）

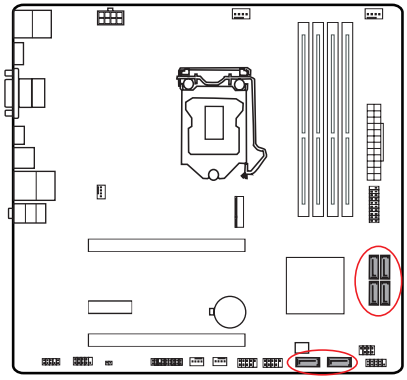
シャーシイントルージョンとシャーシスピーカーをこのヘッダーに接続してください。

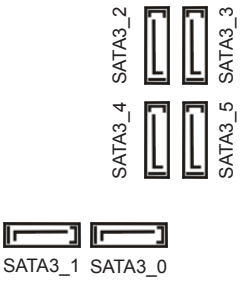




シリアル ATA3 コネクタ
(SATA3_0)（p.6、 No. 14 参照）
(SATA3_1)（p.6、 No. 15 参照）
(SATA3_2)（p.6、 No. 8 参照）
(SATA3_3)（p.6、 No. 9 参照）
(SATA3_4)（p.6、 No. 11 参照）
(SATA3_5)（p.6、 No. 10 参照）

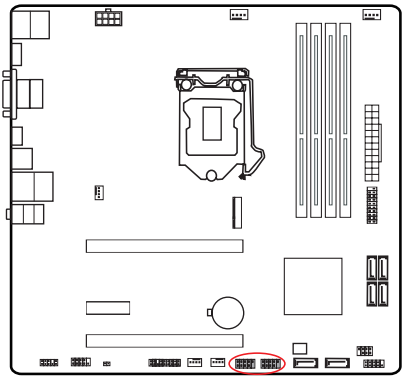
これら 6 つの SATA3 コネクターは、最高 6.0 Gb/ 秒のデータ転送速度で内部ストレージデバイス用の SATA データケーブルをサポートします。

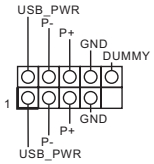




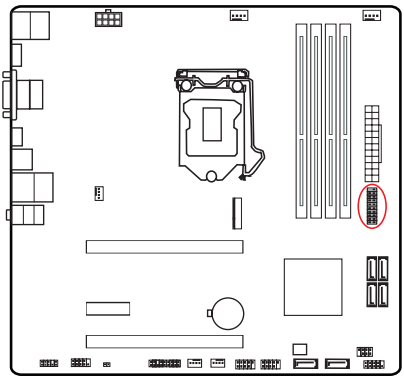
日本語

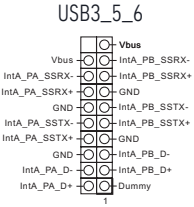
USB 2.0 ヘッダー
(9 ピン USB3_4) (p.6、 No. 17 参照)
(9 ピン USB5_6) (p.6、 No. 16 参照)
このマザーボードには 2 つのヘッダーが装備されています。





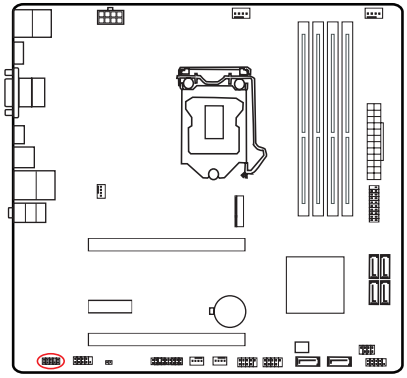
USB 3.2 Gen1 ヘッダー
(19 ピン USB3_5_6) (p.6、 No. 7 参照)
このマザーボードには 1 つ のヘッダーが装備されて います。 この USB 3.2 Gen1 ヘッダーは、2 つのポートを サポートできます。



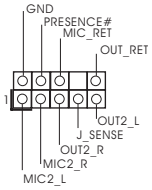


フロントパネルオーディオヘッダー
(9 ピン HD_AUD101) (p.6、No. 23 参照)

このヘッダーは、フロントオーディオパネルにオーディオデバイスを接続するためのものです。



HD_AUD101

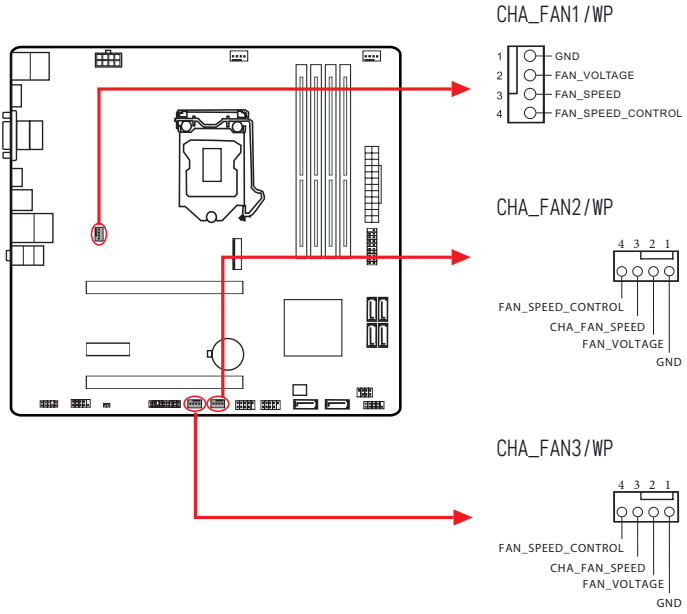


1. ハイディフィニションオーディオはジャックセンシングをサポートしていますが、正しく機能するためには、シャーシのパネルワイヤーが HDA をサポートしていることが必要です。お使いのシステムを取り付けるには、当社のマニュアルおよびシャーシのマニュアルの指示に従ってください。

2. AC' 97 オーディオパネルを使用する場合には、次のステップで、前面パネルオーディオヘッダーに取り付けてください。
A. Mic_IN (MIC) を MIC2_L に接続します。
B. Audio_R (RIN) を OUT2_R に、Audio_L (LIN) を OUT2_L に接続します。
C. アース (GND) をアース (GND) に接続します。
D. MIC_RET と OUT_RET は、HD オーディオパネル専用です。AC' 97 オーディオパネルではこれらを接続する必要はありません。
E. フロントマイクを有効にするには、Realtek コントロールパネルの「FrontMic」タブで、「録音音量」を調整してください。

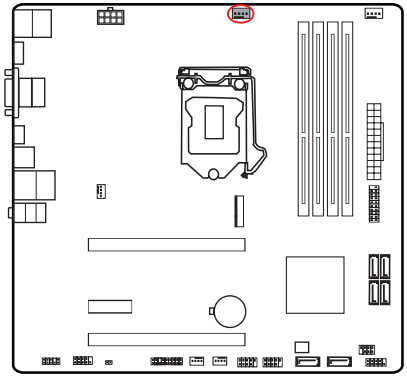
シャーシ / ウォーターポンプファンコネクタ
(4 ピン CHA_FAN1/WP) (p.6、 No. 24 参照)
(4 ピン CHA_FAN2/WP) (p.6、 No. 18 参照)
(4 ピン CHA_FAN3/WP) (p.6、 No. 19 参照)

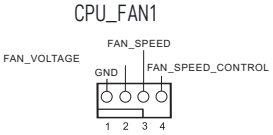
このマザーボードは、3 つの 4 ピン水冷シャーシファンコネクタを搭載します。3 ピンのシャーシウォータークーラーファンを接続する場合には、ピン 1-3 に接続してください。



CPU ファンコネクタ
（4 ピン CPU_FAN1）（p.6、 No. 2 参照）

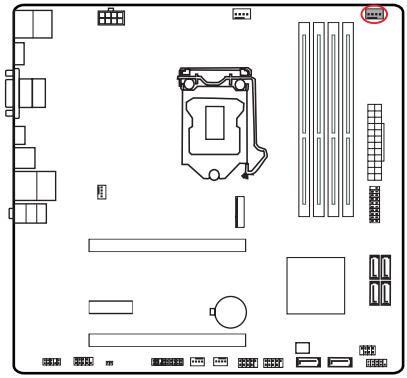
このマザーボードは 4 ピン CPU ファン（静音ファン）コネクタが装備されています。3 ピンの CPU ファンを接続する場合には、ピン 1-3 に接続してください。

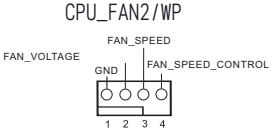




CPU/ ウォーターポンプファンコネクタ
（4 ピン CPU_FAN2/WP）（p.6、 No. 5 参照）

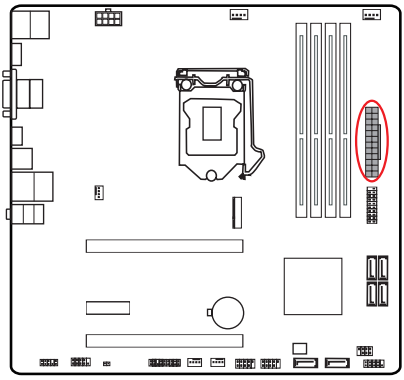
このマザーボードは 4 ピン水冷却 CPU ファンコネクタが装備されています。3 ピンの CPU 水冷却ファンを接続する場合には、ピン 1-3 に接続してください。

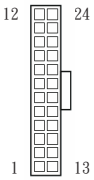




ATX 電源コネクタ
（24 ピン ATXPWR1）（p.6、No. 6 参照）

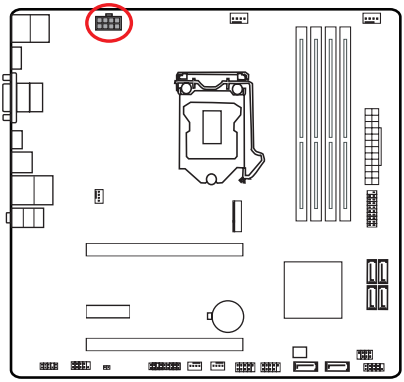
このマザーボードは 24 ピン ATX 電源コネクタが装備されています。20 ピンの ATX 電源を使用するには、ピン 1 と 13 番に合わせて接続してください。

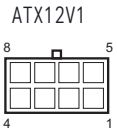




ATX 12V 電源コネクタ
（8 ピン ATX12V1）（p.6、No. 1 参照）

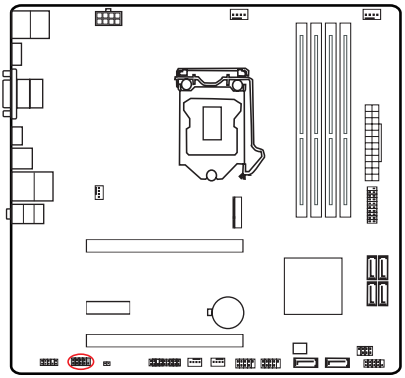
このマザーボードは 8 ピン ATX12V 電源コネクタが装備されています。4 ピンの ATX 電源を使用するには、ピン 1 と 5 番に合わせて接続してください。

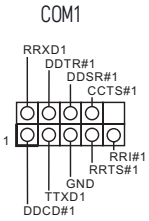




シリアルポートヘッダー
（9 ピン COM1）（p.6, No. 22 参照）

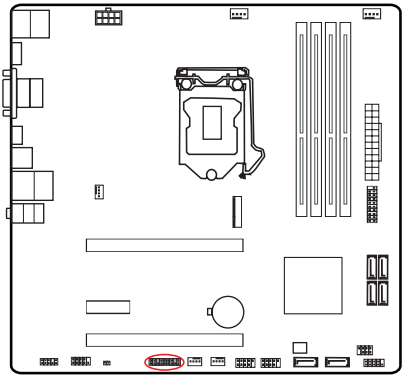
この COM1 ヘッダーはシリアルポートモジュールをサポートします。

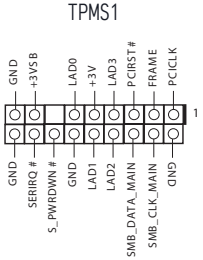




TPM ヘッダー
（17 ピン TPMS1）（p.6, No. 20 参照）

このコネクタはトラステッドプラットフォームモジュール（TPM）システムをサポートし、鍵、デジタル証明書、パスワード、データを安全に保管することができます。TPM システムはまた、ネットワークセキュリティを高め、デジタル証明書を保護し、プラットフォームの完全性を保証します。





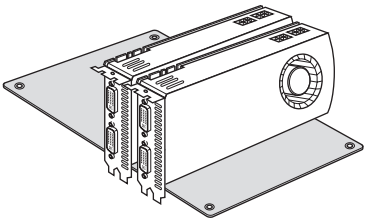
日本語

2.14 CrossFireX™ およびクアッド CrossFireX™ オペレーションガイド

このマザーボードは CrossFireX™ とクアッド CrossFireX™ に対応します。これらのテクノロジーを使用すれば、最大 2 枚の同一の PCI Express x16 グラフィックスカードを取り付けることができます。

1. AMD 認定されている同一の CrossFireX™ 対応グラフィックスカードだけを使用してください。
2. お使いのグラフィックスカードドライバが AMD CrossFireX™ テクノロジーに対応することを確認してください。AMD のウェブサイトからドライバをダウンロードします www.amd.com 。
3. 電源供給ユニット (PSU) が少なくともシステムに必要な最小電源を供給できることを確認してください。AMD 認定 PSU を使用することを推奨します。詳細については AMD のウェブサイトを参照してください。
4. 12 パイプ CrossFireX™ エディションカードと 16 パイプカードを組み合わせる場合は、CrossFireX™ モードでは、両方のカードは 12 パイプカードとして動作します。
5. 異なる CrossFireX™ カードは異なる方法で CrossFireX™ を有効にする必要があります。
詳しい取り付け説明については、AMD グラフィックスカードの取扱説明書を参照してください。

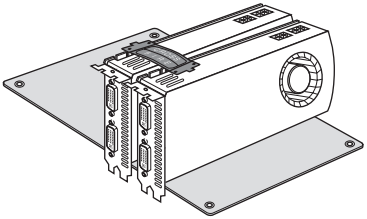
2.14.1 2 枚の CrossFireX™ 対応グラフィックスカードを取り付ける



手順 1

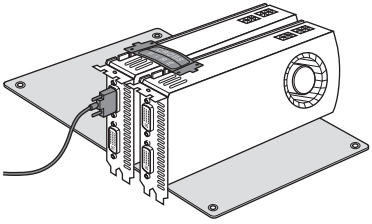
1 枚のグラフィックスカードを PCIE1 スロットに挿入して、もう 1 枚のグラフィックスカードを PCIE3 スロットに挿入します。カードがスロットに正しく収まっていることを確認してください。

CrossFire ブリッジ



手順 2

CrossFire ブリッジをグラフィックスカードの一番上にある CrossFire ブリッジインターコネクト上に取り付けて 2 枚のグラフィックスカードを接続します。 (CrossFire ブリッジは購入するグラフィックスカードに付属しています。このマザーボードのバンドル付属品ではありません。詳細についてはグラフィックスカードのベンダーまでお問い合わせください。)



手順 3

VGA ケーブルまたは DVI ケーブルを、PCIE1 スロットに挿入したグラフィックスカードのモニターコネクタあるいは DVI コネクタに接続します。

2.14.2 ドライバのインストールとセットアップ

手順 1

コンピュータの電源を入れて OS を起動します。

手順 2

VGA ドライバをシステムにインストールしている場合は、AMD ドライバを削除します。

> *Catalyst Uninstaller（カタリストアンインストーラ）はオプションのダウンロードです。インストールする前に、以前にインストールした Catalyst（カタリスト）ドライバをこのユーティリティを使用してアンインストールすることを推奨します。AMD ドライバの更新については AMD のウェブサイトを参照してください。*

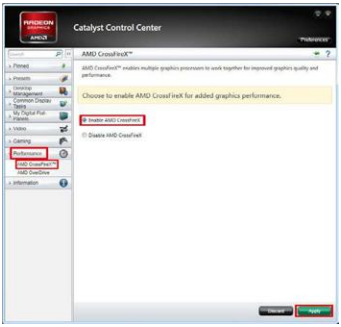
手順 3

必要なドライバとカタリストコントロールセンターをインストールして、コンピュータを再起動します。詳細については AMD のウェブサイトを参照してください。

AMD Catalyst Control Center（AMD カタリストコントロールセンター）

手順 4

Windows® システムトレイにある AMD Catalyst Control Center（AMD カタリストコントロールセンター）アイコンをダブルクリックします。



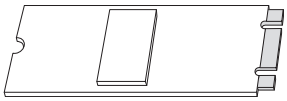
手順 5

左ペインで、 Performance（パフォーマンス） をクリックして、次に、AMD CrossFireX™ をクリックします。次に、Enable AMD CrossFireX（AMD CrossFireX を有効にする）を選択して、Apply（適用）をクリックします。使用するグラフィックスカードに従って GPU の数を選択して、Apply（適用）をクリックします。

2.15 M.2_SSD (NGFF) モジュール取り付けガイド (M2_1)

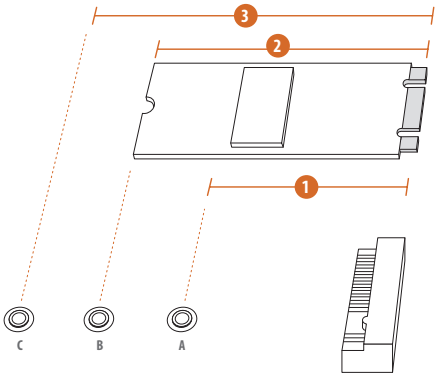
M.2 は次世代フォームファクタ (Next Generation Form Factor、NGFF) とも呼ばれます。M.2 は小型の多目的カードエッジコネクタであり、mPCIe と mSATA に代わることを目的とします。Ultra M.2 ソケット (M2_1) 、M Key タイプ 2242/2260/2280、最大 Gen3 x4 (32 Gb/s) までの M.2 PCI Express モジュールに対応。

M.2_SSD (NGFF) モジュールを取り付ける



手順 1

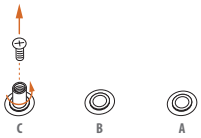
M.2_SSD (NGFF) モジュールおよびねじを準備します。

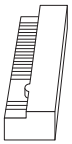


手順 2

PCB のタイプと M.2_SSD (NGFF) の長さに合わせて、一致するねじの位置を選んでください。

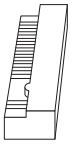
番号	1	2	3
ナットの場所	A	B	C
PCB 長さ	4.2cm	6cm	8cm
モジュールのタイプ	Type 2242	Type2260	Type 2280





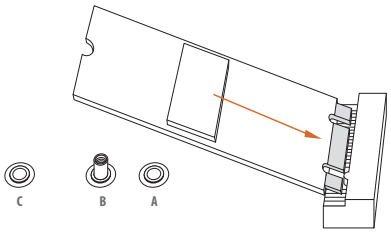
手順 3

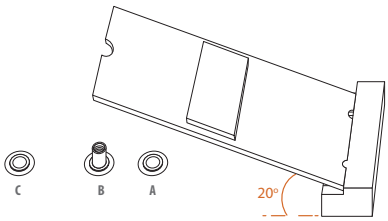
モジュールのタイプと長さに基づいてスタンドオフを移動します。デフォルトでは、スタンドオフはナット位置 C にあります。 デフォルトのナットを使用する場合は、手順 3 と手順 4 をスキップして手順 5 に進みます。
その他の場合はスタンドオフを手で緩めます。



手順 4

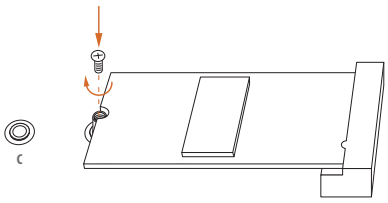
ねじに貼付されている黄色の保護フィルムをはがします。 デバイスを取り付ける場所にあわせて、手でねじを締めてください。





手順 5

M.2 (NGFF) SSD モジュールを丁寧に M.2 スロットに挿入します。M.2 (NGFF) SSD モジュールは 1 方向にしか取り付けることができません。



手順 6

ドライバでねじをしっかりと留めてください。しかし、きつく締めるすぎるとモジュールが破損する恐れがあるのでご注意ください。

M.2_SSD (NGFF) モジュールサポート一覧 (M2_1)

ベンダー	インターフェース	部品番号
ADATA	PCIe3 x4	ASX7000NP-128GT-C
ADATA	PCIe3 x4	ASX8000NP-256GM-C
ADATA	PCIe3 x4	ASX7000NP-256GT-C
ADATA	PCIe3 x4	ASX8000NP-512GM-C
ADATA	PCIe3 x4	ASX7000NP-512GT-C
Apacer	PCIe3 x4	AP240GZ280
Corsair	PCIe3 x4	CSSD-F240GBMP500
Intel	PCIe3 x4	SSDPEKKF256G7
Intel	PCIe3 x4	SSDPEKKF512G7
Kingston	PCIe3 x4	SKC1000/480G
Kingston	PCIe2 x4	SH2280S3/480G
OCZ	PCIe3 x4	RVD400 -M2280-512G (NVME)
PATRIOT	PCIe3 x4	PH240GPM280SSDR NVME
Plextor	PCIe3 x4	PX-128M8PeG
Plextor	PCIe3 x4	PX-1TM8PeG
Plextor	PCIe3 x4	PX-256M8PeG
Plextor	PCIe3 x4	PX-512M8PeG
Plextor	PCIe	PX-G256M6e
Plextor	PCIe	PX-G512M6e
Samsung	PCIe3 x4	SM961 MZVPW128HEGM (NVM)
Samsung	PCIe3 x4	PM961 MZVLW128HEGR (NVME)
Samsung	PCIe3 x4	960 EVO (MZ-V6E250) (NVME)
Samsung	PCIe3 x4	960 EVO (MZ-V6E250BW) (NVME)
Samsung	PCIe3 x4	SM951 (NVME)
Samsung	PCIe3 x4	SM951 (MZHPV256HDGL)
Samsung	PCIe3 x4	SM951 (MZHPV512HDGL)
Samsung	PCIe3 x4	SM951 (NVME)
Samsung	PCIe x4	XP941-512G (MZHPU512HCGL)
SanDisk	PCIe	SD6PP4M-128G
SanDisk	PCIe	SD6PP4M-256G
TEAM	PCIe3 x4	TM8FP2240G0C101
TEAM	PCIe3 x4	TM8FP2480GC110
WD	PCIe3 x4	WDS256G1X0C-00ENX0 (NVME)
WD	PCIe3 x4	WDS512G1X0C-00ENX0 (NVME)

M.2_SSD (NFGG) モジュールサポート一覧の最新の更新については、弊社のウェブサイトで詳細をご確認ください http://www.asrock.com 。

第 3 章　ソフトウェアとユーティリティの操作

3.1　ドライバをインストールする

マザーボードに付属しているサポート DVD には、必要なドライバ、および、マザーボードの機能を強化する便利なユーティリティが含まれています。

サポート DVD を実行する

サポート DVD を使用するために、DVD を BD/DVD ドライブに挿入します。 コンピュータで「AUTORUN（自動実行）」が有効になっている場合は、DVD がメインメニューを自動的に表示します。 メインメニューが自動的に表示されない場合は、サポート DVD 内のファイル「ASRSETUP.EXE」をダブルクリックしてメニューを表示します。

ドライバメニュー

システムと互換性のあるドライバが自動的に検出されて、サポート DVD ドライバページに一覧表示されます。 Install All（すべてインストールする）をクリックするか、または、上から下への順番で必要なドライバをインストールしてください。 このようにインストールすることで、ドライバが正しく動作するようにします。

ユーティリティメニュー

ユーティリティメニューには、マザーボードが対応するアプリケーションソフトウェアが表示されます。 特定の項目をクリックして、インストールウィザードに従ってインストールします。

3.2 A-Tuning

A-Tuning は ASRock の多目的ソフトウェアスイートです。新しいインターフェースを有し、数々の新しい機能が追加されており、ユーティリティが改善されてました。

3.2.1 A-Tuning のインストール

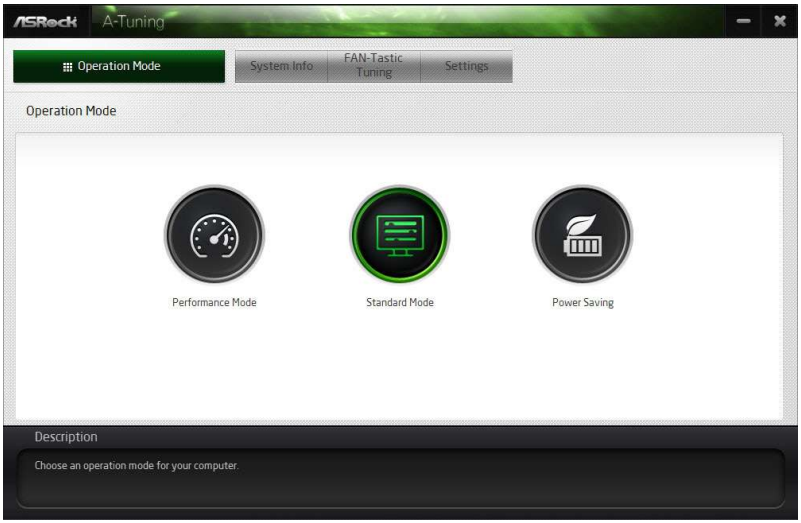
A-Tuning を ASRock Live Update & APP Shop (ASRock ライブ更新と APP ショップ) からダウンロードできます。インストール後、デスクトップに「A-Tuning」アイコンが表示されます。「A-Tuning」 アイコンをダブルクリックすると、A-Tuning のメインメニューが表示されます。

3.2.2 A-Tuning の使用

A-Tuning のメインメニューには次の 4 つのセクションがあります：Operation Mode (操作モード) 、System Info (システム情報) 、FAN-Tastic Tuning (FAN-Tastic チューニング) 、Settings (設定) 。

Operation Mode (操作モード)

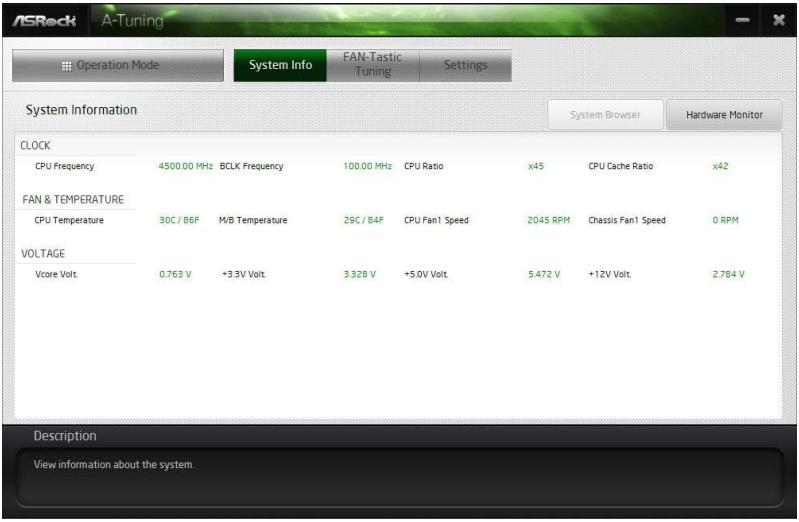
コンピューターの操作モードを選択します。



日本語

System Info（システム情報）

システムに関する情報を表示します。
* モデルによっては、システムブラウザタブが表示されないことがあります。

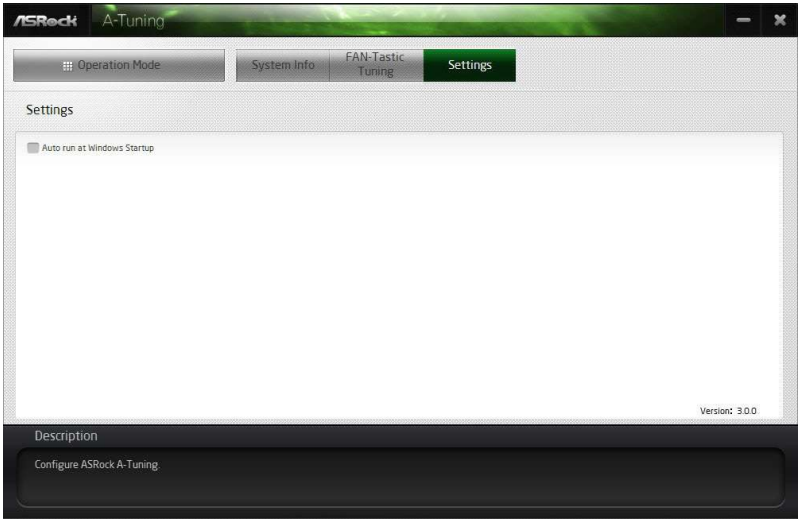


FAN-Tastic Tuning（ファン調整）

グラフを使用して、最大 5 種類のファン速度が設定できます。割当てられた温度に達すると、ファンは次の速度レベルへと自動的にシフトします。

Settings (設定)

ASRock A-Tuning を設定します。Windows オペレーションシステムを起動する際に A-Tuning を始動したい場合は、「Auto run at Windows Startup (Windows 起動時に自動実行) 」 をクリックして選択します。



3.3 ASRock Live Update & APP Shop (ASRock ライブ更新と APP ショップ)

ASRock ライブ更新と APP ショップは、ASRock コンピュータ用のソフトウェアアプリケーションを購入したりダウンロードできるオンラインストアです。 さまざまなアプリケーションとサポートユーティリティを素早く簡単にインストールできます。 ASRock APP ショップを使用すれば、数回クリックするだけで、システムを最適化して、マザーボードを最新の状態に維持できます。

デスクトップ上の をダブルクリックして ASRock ライブ更新と APP ショップユーティリティにアクセスします。

*ASRock ライブ更新と APP ショップからアプリケーションをダウンロードするにはインターネットに接続している必要があります。

3.3.1 UI 概要

Category Panel (カテゴリパネル) : カテゴリパネルにはいくつかのタブまたはボタンがあります。これらのタブまたはボタンを選択すると、下の情報パネルに関係する情報が表示されます。

Information Panel (情報パネル) : 中央にある情報パネルには、現在選択されているカテゴリについてのデータが表示されます。また、ジョブに関係するタスクを実行できます。

Hot News (ホットニュース) : ホットニュースセクションにはさまざまな最新ニュースが表示されます。 画像をクリックして選択したニュースのウェブサイトを開いて詳しく読むことができます。

3.3.2 Apps（アプリ）

「Apps（アプリ）」タブを選択すると、ダウンロードできるすべてのアプリが画面上に表示されます。

アプリをインストールする

手順 1

インストールしたいアプリを検索します。

最も推奨されるアプリが画面の左側に表示されます。 その他のさまざまなアプリは右側に表示されます。 上下にスクロールして一覧にあるアプリを検索してください。

アプリの価格を確認したり、アプリを既にインストールしているかどうかを確認できます。

Free - 赤色のアイコンに価格が表示されます。または、アプリが無料の場合は「Free（無料）」と表示されます。

Installed - 緑色の「Installed（インストール済み）」アイコンは、アプリがコンピュータにインストールされていることを意味します。

手順 2

アプリアイコンをクリックすると、選択したアプリの詳細情報が表示されます。

手順 3

アプリをインストールしたい場合は、赤色のアイコン Free をクリックしてダウン ロードを開始します。

手順 4

インストールが完了すると、右上端に緑色の「Installed（インストール済み）」アイコンが表示されます。

アプリをアンインストールするには、ゴミ箱アイコン をクリックします。

* アプリによっては、ゴミ箱アイコンが表示されないことがあります。

アプリをアップグレードする

アップグレードできるのはインストール済みのアプリのみです。 アプリの新しいバージョンがある場合は、インストールしたアプリアイコンの下に「New Version（新しいバージョン）」 New Version のマークが表示されます。

手順 1

アプリアイコンをクリックすると、詳細情報が表示されます。

手順 2

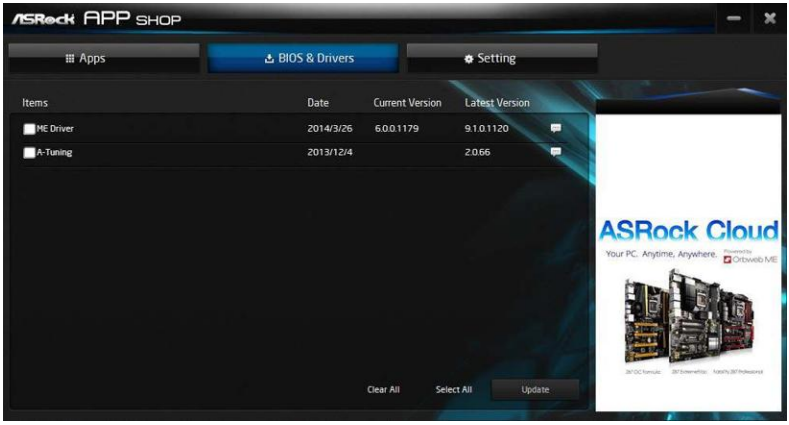
黄色のアイコン New Version をクリックしてアップグレードを開始します。

日本語

3.3.3 BIOS & Drivers（BIOS とドライバ）

BIOS またはドライバをインストールする

「BIOS & Drivers（BIOS とドライバ）」タブを選択すると、BIOS またはドライバ用の推奨更新または重要な更新が一覧表示されます。 速やかにすべて更新してください。



手順 1

更新する前に項目情報を確認してください。 をクリックすると、詳細情報が表示されます。

手順 2

更新したい項目を 1 つまたは複数クリックして選択します。

手順 3

「Update（更新）」をクリックして更新処理を開始します。

3.3.4 設定

「Setting（設定）」ページで、言語を変更したり、サーバーの場所を選択したり、Windows 起動時に ASRock ライブ更新と APP ショップを自動的に実行するかどうかを決めることができます。

第 4 章　UEFI セットアップユーティリティ

4.1　はじめに

このセクションでは、UEFI セットアップ ユーティリティを使用して、システムを構成する方法を説明します。UEFI セットアップ ユーティリティ は、コンピューターに電源を入れた直後に <F2> または <Del> を押すことによって起動できます。ユーティリティーを起動しなければ、電源投入時セルフテスト (POST) が通常のテストを開始します。POST の後に UEFI セットアップ ユーティリティを開始するには、<Ctl> + <Alt> + <Delete> または本体のリセットボタンを押して、システムを再起動します。システムをシャットダウンした後、再度電源を入れても、ユーティリティーを起動することができます、再起動できます。

UEFI ソフトウェは、常に更新されているため、以下の設定画面および説明は参照のみを目的としており、実際の画面と必ずしも一致しない場合もあります。

4.2 EZ Mode（EZ モード）

デフォルトでは、BIOS セットアッププログラムを開くと、「EZ Mode（EZ モード）」画面が表示されます。EZ モードはシステムの現在の状態のさまざまな読み取り値が表示されるダッシュボードです。CPU 速度、DRAM 周波数、SATA 情報、ファン速度など、システムの最も重要な情報を確認できます。

「Advanced Mode（アドバンスドモード）」に切り替えてその他のオプションを表示するには、<F6> を押すか、または、画面の右上隅にある［Advanced Mode（アドバンスドモード）］ボタンをクリックします。

4.3 Advanced Mode（アドバンスドモード）

Advanced Mode（アドバンスドモード）は BIOS 設定を設定するためのその他のオプションを提供します。詳しい設定については次のセクションを参照してください。

EZ モードにアクセスするには、<F6> を押すか、または、画面の右上隅にある [EZ Mode（EZ モード）] ボタンをクリックします。

4.3.1 UEFI メニューバー

画面上部には、以下が並んだメニューバーがあります：

Main（メイン）	システムの時間 / 日付情報の設定
OC Tweaker（OC 調整）	オーバークロック設定
Advanced（詳細設定）	システムの詳細設定
Tool（ツール）	便利なツール
H/W Monitor（H/W モニター）	現在のハードウェアステータスを表示
Security（セキュリティ）	セキュリティ設定
Boot（ブート）	ブート設定およびブートの優先順位の設定
Exit（終了）	現在の画面または UEFI セットアップ ユーティリティを終了

4.3.2 ナビゲーションキー

メニューバーで項目を選択する場合は、< ← > キーまたは < → > キーを使用します。カーソルを上下に移動して項目を選択する場合は、< ↑ > キーまたは < ↓ > キーを使用します。次に <Enter> を押してサブ画面へ移動します。マウスでクリックして、必要なアイテムを選択することもできます。

各ナビゲーションキーの説明は、以下の表でご確認ください。

ナビゲーションキー	説明
+ / -	選択したアイテムのオプションを変更
<Tab>	次の機能に切替え
<PGUP>	前のページへ
<PGDN>	次のページへ
<HOME>	画面の最初へ
<END>	画面の最後へ
<F1>	一般的なヘルプ画面を表示
<F5>	Add / Remove Favorite (お気に入りの追加 / 削除)
<F7>	変更をキャンセルして、セットアップ ユーティリティを終了
<F9>	すべての設定で最適な既定値を読込み
<F10>	変更を保存して、セットアップ ユーティリティを終了
<F12>	プリントスクリーン
<ESC>	終了画面へジャンプまたは現在の画面を終了

4.4 Main（メイン）画面

UEFI セットアップ ユーティリティに入ると、メイン画面が現れ、システムの概要が表示されます。

My Favorite（お気に入り）

BIOS アイテムのコレクションを表示。「お気に入り」の中のコレクションを追加 / 削除する場合は F5 を押してください。

4.5 OC Tweaker（OC 調整）画面

OC 調整画面では、オーバークロック機能を設定できます。

UEFI ソフトウェアは、常に更新されているため、以下の設定画面および説明は参照のみを目的としており、実際の画面と必ずしも一致しない場合もあります。

CPU Configuration（CPU 設定）

Boot Performance Mode（ブートパフォーマンスモード）

デフォルト設定は Max Non-Turbo（最大ノンターボ）パフォーマンスモードです。OS ハンドオフまで cpu Flex- レシオを維持します。Max Battery（最大バッテリー）モードは OS ハンドオフまで CPU レシオを 8 倍に設定します。このオプションは BCLK オーバークロッキング向けに推奨します。

FCLK Frequency（FCLK 周波数）

FCLK 周波数を設定します。

AVX Ratio Offset（AVX レシオオフセット）

AVX Ratio Offset（AVX レシオオフセット）は AVX ワークロードの CPU Ratio（CPU レシオ）からのマイナスオフセット値を指定します。AVX は SSE ワークロードの最大レシオを確保するために AVX レシオの低いよりストレス

日本語

の高いワークロードです。

BCLK Aware Adaptive Voltage (BCLK アウェア型アダプティブ電源)

BCLK Aware Adaptive Voltage (BCLK アウェア型アダプティブ電源) を有効 / 無効にします。有効な場合は、CPU V/F 曲線を計算する際に pcode が BCLK 周波数を認識します。これは、BCLK オーバークロックで高電圧オーバーライドを防止する際に最適です。

Ring to Core Ratio Offset (リング対コア比オフセット)

Ring to Core Ratio Offset (リング対コア比オフセット) を無効にすると、リングとコアを同じ周波数で動作させることができます。

Intel SpeedStep Technology (Intel SpeedStep のテクノロジー)

Intel SpeedStep のテクノロジーにより、節電と放熱のために、プロセッサーを複数の周波数および電圧ポイントで切り替え可能です。

Intel Turbo Boost Technology (インテル・ターボ・ブースト・テクノロジー)

インテル・ターボ・ブースト・テクノロジーにより、オペレーティングシステムが最高水準のパフォーマンスを要求するときに、プロセッサーを基本動作周波数以上で実行可能です。

Intel Speed Shift Technology (インテル・スピード・シフト・テクノロジー)

Intel Speed Shift Technology (インテル･スピード･シフト･テクノロジー) サポートを有効 / 無効にします。有効にすると、CPPC v2 インターフェースをハードウェア制御の P ステート向けに使用できます。

Long Duration Power Limit (長期間電力制限)

[Configure Package Power Limit 1] (パッケージの電力制限 1) をワット数で指定します。制限を超過すると、CPU レシオが徐々に下げられます。制限を低く設定することで、CPU が保護され、電力の消費が抑えられます。一方で制限を高く設定することで、パフォーマンスが向上します。

Long Duration Maintained (長期間維持)

[Long Duration Power Limit] (長期間電力制限) を超過したときに、CPU レシオの下げられるスピードを設定します。

Short Duration Power Limit (短期間電力制限)

[Configure Package Power Limit 2] (パッケージの電力制限 2) をワット

数で指定します。制限を超過すると、CPU レシオがただちに下げられます。制限を低く設定することで、CPU が保護され、電力の消費が抑えられます。一方で制限を高く設定することで、パフォーマンスが向上します。

CPU Core Current Limit (CPU コア電流制限)

CPU コアの電流制限を設定します。制限を低く設定することで、CPU が保護され、電力の消費が抑えられます。一方で制限を高く設定することで、パフォーマンスが向上します。

GT Current Limit (GT スライス電流制限)

GT スライスの電流制限を設定します。制限を低く設定することで、CPU が保護され、電力の消費が抑えられます。一方で制限を高く設定することで、パフォーマンスが向上します。

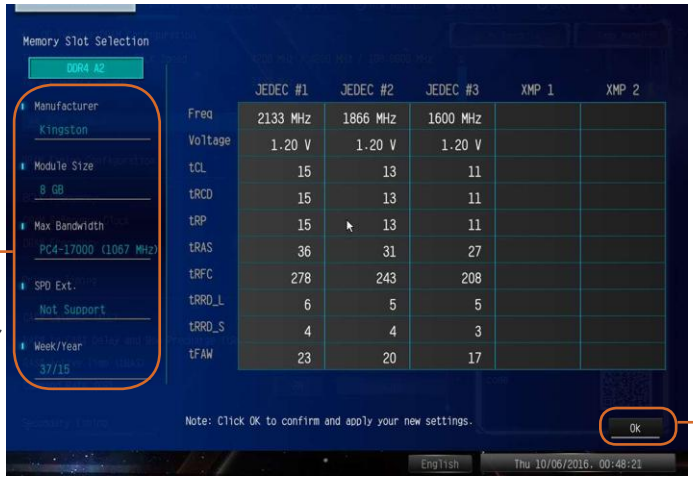
GT Frequency (GT 周波数)

統合 GPU の周波数を設定します。

DRAM Configuration (DRAM 設定)

DRAM Tweaker (DRAM 調整)

チェックボックスをオン / オフすることにより、DRAM 設定を調整します。新しい設定を確認して適用するには、[OK] をクリックします。



メモリモジュール情報

設定を保存する

DRAM Timing Configuration (DRAM のタイミング設定)

Load XMP Setting (XMP 設定の読込み)

XMP 設定を読み込んでメモリをオーバークロックし、標準仕様を上回る性能を実現します。

DRAM Reference Clock (DRAM 周波数クロック)

最適な設定には [Auto] (自動) を選択します。

DRAM Frequency (DRAM 周波数)

[Auto] (自動) が選択されている場合、マザーボードは挿入されているメモリモジュールを検出し、適切な周波数を自動的に割り当てます。

DRAM Clock (DRAM クロック)

DRAM Clock (DRAM クロック) を設定します。

Primary Timing (プライマリタイミング)

CAS# Latency (tCL) (CAS# レイテンシー (tCL))

カラムアドレスのメモリへの送信から、データが応答までの時間。

RAS# to CAS# Delay (RAS# から CAS# までの遅延) と Row Precharge (行プリチャージ) (tRCDtRP)

RAS# to CAS# Delay (RAS# から CAS# までの遅延) : メモリの行を開いてから、そのうちの列へのアクセスまでに要するクロックサイクル数。
Row Precharge (行プリチャージ) : プリチャージ コマンドを発行してから、次の行が開かれるまでに要するクロックサイクル数。

RAS# Active Time (tRAS) (RAS# アクティブ時間 (tRAS))

バンク アクティブ コマンドから、プリチャージ コマンドを発行するまでに要するクロックサイクル数。

Command Rate (CR) (コマンドレート (CR))

メモリチップが選択されてから、最初のアクティブ コマンドが発行されるまでの遅延。

Secondary Timing (セカンダリタイミング)

Write Recovery Time (tWR) (書き込み回復時間 (tWR))

有効な書き込み操作の完了後、アクティブなバンクがプリチャージされるまでに必要な遅延量。

Refresh Cycle Time (tRFC) (リフレッシュ サイクル時間 (tRFC))

リフレッシュ コマンドから、同じランクへの最初のアクティブ コマンドまでのクロック数。

RAS to RAS Delay (tRRD_L) (RAS から RAS までの遅延 (tRRD_L))

同じランクの異なるバンクで有効化された 2 つの行の間のクロック数。

RAS to RAS Delay (tRRD_S) (RAS から RAS までの遅延 (tRRD_S))

同じランクの異なるバンクで有効化された 2 つの行の間のクロック数。

Write to Read Delay (tWTR_L) (書き込みから読み取りまでの遅延 (tWTR_L))

最後の有効な書き込み操作から、同じ内部バンクへの次の読み取りコマンドまでのクロック数。

Write to Read Delay (tWTR_S) (書き込みから読み取りまでの遅延 (tWTR_S))

最後の有効な書き込み操作から、同じ内部バンクへの次の読み取りコマンドまでのクロック数。

Read to Precharge (tRTP) (読み取りからプリチャージまで (tRTP))

読み取りコマンドから、同じランクへの行のプリチャージ コマンドまでに挿入されたクロック数。

Four Activate Window (tFAW) (4 つのアクティベート ウィンドウ (tFAW))

1 つのランクに 4 つのアクティベートが可能な時間ウィンドウ。

CAS Write Latency (tCWL) (CAS 書き込みレイテンシー (tCWL))

CAS 書き込みレイテンシーを設定します。

Third Timing (3 番目のタイミング)

tREFI

平均周期の間隔でリフレッシュ サイクルを設定します。

tCKE

DDR4 がリフレッシュモードに入ってから、内部で少なくとも 1 つのリフレッシュコマンドを開始する間隔を設定します。

Turn Around Timing (ターンアラウンドタイミング)

tRDRD_sg

モジュールの読み取りから読み取りの遅延を設定します。

tRDRD_dg

モジュールの読み取りから読み取りの遅延を設定します。

tRDRD_dr
モジュールの読み取りから読み取りの遅延を設定します。

tRDRD_dd
モジュールの読み取りから読み取りの遅延を設定します。

tRDWR_sg
モジュールの読み取りから書き込みの遅延を設定します。

tRDWR_dg
モジュールの読み取りから書き込みの遅延を設定します。

tRDWR_dr
モジュールの読み取りから書き込みの遅延を設定します。

tRDWR_dd
モジュールの読み取りから書き込みの遅延を設定します。

tWRRD_sg
モジュールの書き込みから読み取りの遅延を設定します。

tWRRD_dg
モジュールの書き込みから読み取りの遅延を設定します。

tWRRD_dr
モジュールの書き込みから読み取りの遅延を設定します。

tWRRD_dd
モジュールの書き込みから読み取りの遅延を設定します。

tWRWR_sg
モジュールの書き込みから書き込みの遅延を設定します。

tWRWR_dg
モジュールの書き込みから書き込みの遅延を設定します。

tWRWR_dr
モジュールの書き込みから書き込みの遅延を設定します。

tWRWR_dd
モジュールの書き込みから書き込みの遅延を設定します。

Round Trip Timing（ラウンドトリップタイミング）
RTL Init Value（ラウンドトリップレイテンシ初期化値）

ラウンドトリップレイテンシトレーニングのレイテンシ初期化値を設定します。

IO-L Init Value (IO レイテンシ初期化値)

IO レイテンシトレーニングの IO レイテンシ初期化値を設定します。

RTL (CH A)

チャンネル A の往復レイテンシーを設定します。

RTL (CH B)

チャンネル B の往復レイテンシーを設定します。

IO-L (CH A)

チャンネル A の IO レイテンシーを設定します。

IO-L (CH B)

チャンネル B の IO レイテンシーを設定します。

IO-L Offset (CH A) (IO レイテンシオフセット (チャンネル A))

チャンネル A の IO レイテンシオフセットを設定します。

IO-L Offset (CH B) (IO レイテンシオフセット (チャンネル B))

チャンネル B の IO レイテンシオフセットを設定します。

RFR Delay (CH A) (RFR 遅延 (チャンネル A))

チャンネル A の RFR 遅延を設定します。

RFR Delay (CH B) (RFR 遅延 (チャンネル B))

ODT Setting (ODT 設定)

ODT WR (A1)

チャンネル A1 のオンダイ終端抵抗 WR のメモリを設定します。

ODT WR (A2)

チャンネル A2 のオンダイ終端抵抗 WR のメモリを設定します。

ODT WR (B1)

チャンネル B1 のオンダイ終端抵抗 WR のメモリを設定します。

ODT WR (B2)

チャンネル B2 のオンダイ終端抵抗 WR のメモリを設定します。

ODT NOM (A1)

これを使って ODT (CH A1) Auto/Manual (自動 / 手動) 設定を変更します。規定値は [Auto] (自動) です。

ODT NOM (A2)

これを使って ODT (CH A2) Auto/Manual (自動 / 手動) 設定を変更します。規定値は [Auto] (自動) です。

ODT NOM (B1)

これを使って ODT (CH B1) Auto/Manual (自動 / 手動) 設定を変更します。
規定値は [Auto] (自動) です。

ODT NOM (B2)

これを使って ODT (CH B2) Auto/Manual (自動 / 手動) 設定を変更します。
規定値は [Auto] (自動) です。

ODT PARK (A1)

チャンネル A1 用の終端抵抗器の PARK 上のメモリを設定します。

ODT PARK (A2)

チャンネル A2 用の終端抵抗器の PARK 上のメモリを設定します。

ODT PARK (B1)

チャンネル B1 用の終端抵抗器の PARK 上のメモリを設定します。

ODT PARK (B2)

チャンネル B2 用の終端抵抗器の PARK 上のメモリを設定します。

COMP Setting (COMP 設定)

RCOMP0: DQ ODT (読み取り)

デフォルト値は 121 です。

RCOMP1: DQ /CLK Ron (ドライブ強度)

デフォルト値は 75 です。

RCOMP2: CMD/CTL Ron (ドライブ強度)

デフォルト値は 100 です。

DQ ODT Driving (DQ ODT ドライビング)

ODT Driving (DQ ODT ドライビング) を調整して信号を強化します。デフォルト値は 60 です。

DQ Driving （DQ ドライビング）

DQ Driving（DQ ドライビング）を調整して信号を強化します。デフォルト値は 26 です。

Command Driving（コマンドドライビング）

Command Driving（コマンドドライビング）を調整して信号を強化します。デフォルト値は 20 です。

Control Driving（コントロールドライビング）

Control Driving（コントロールドライビング）を調整して信号を強化します。デフォルト値は 20 です。

Clock Driving（クロックドライビング）

Clock Driving（クロックドライビング）を調整して信号を強化します。デフォルト値は 26 です。

DQ Slew Rate（DQ スルーレート）

DQ Slew Rate（DQ スルーレート）を調整して信号を強化します。デフォルト値は 59 です。

Command Slew Rate（コマンドスルーレート）

Command Slew Rate（コマンドスルーレート）を調整して信号を強化します。IN のデフォルトは 53、2N のデフォルトは 89 です。

Contorl Slew Rate（コントロールスルーレート）

Control Slew Rate（コントロールスルーレート）を調整して信号を強化します。デフォルト値は 53 です。

Clock Slew Rate（クロックスルーレート）

Clock Slew Rate（クロックスルーレート）を調整して信号を強化します。デフォルト値は 53 です。

MRS Setting（MRS 設定）

MRS tCL

メモリ MRS MR0 向けの tCL を設定します。

MRS tWRtRTP

メモリ MRS MRC 向けの tWRtRTP CL を設定します。

MRS tCWL

メモリ MRS MR2 向けの tCWL を設定します。

MRS tCCD_L

メモリ MRS MR6 向けの tCL を設定します。

Advanced Setting（詳細設定）

ASRock Timing Optimization（ASRock タイミング最適化）

MRC 経由の高速パスを設定します。

Realtime Memory Timing（リアルタイム・メモリ・タイミング）

Realtime Memory Timing（リアルタイム・メモリ・タイミング）を設定します。

[Enabled（有効）] システムは MRC_DONE の後に、リアルタイム・メモリ・タイミング変更の実行を許可します。

Command Tristate（コマンド・トライステート）

Command Tristate Support（コマンド・トライステート・サポート）を設定します。

Exit On Failure（故障の場合は終了）

MRC トレーニングステップ向けの Exit On Failure（故障の場合に終了）を設定します。

Reset On Training Fail（トレーニングに失敗した場合はリセット）

MRC トレーニングに失敗した場合はシステムをリセットします。

MRC Fast Boot（MRC 高速ブート）

有効にすると、DRAM メモリトレーニングをスキップし、起動が速くなります。

Voltage Configuration（電圧設定）

CPU Core/Cache Voltage（CPU コア / キャッシュ電圧）

CPU コア / キャッシュの電圧を設定します。

CPU Load-Line Calibration（CPU ロードライン キャリブレーション）

システムの負荷が大きいときに、CPU の電圧垂下を防ぐのを助けます。

GT Voltage（GT 電圧）

CPU の電圧を設定します。

GT Load-Line Calibration（GT ロードライン・キャリブレーション）

GPU Load-Line Calibration（GPU ロードラインキャリブレーション）は、システムに高負荷がかかる場合に GPU 電圧降下を防止します。

DRAM Voltage（DRAM 電圧）

DRAM 電圧を設定します。デフォルトでは［Auto（自動）］です。

DRAM Activating Power Supply（DRAM アクティベーティング電源供給）

DRAM アクティベーティング電源供給の電圧を設定します。

PCH +1.0 Voltage（PCH +1.0 電圧）

チップセット電圧を設定します（1.0V）。

VCCST Voltage（VCCST 電圧）

VCCST の電圧を設定します。

VCCSA Voltage（VCCSA 電圧）

VCCSA の電圧を設定します。

Save User Default（ユーザー定義の保存）

設定をユーザー定義として保存するには、プロファイル名を入力し、<Enter> を押します。

Load User Default（ユーザー定義の読込み）

前回保存したユーザー定義を読み込みます。

Save User UEFI Setup Profile to Disk（ユーザー UEFI セットアップポートフォリオをディスクに保存）

現在の UEFI 設定をユーザーデフォルトプロファイルとしてディスクに保存します。

Load User UEFI Setup Profile to Disk（ユーザー UEFI セットアッププロファイルをディスクに読み込む）

前に保存したユーザーデフォルトをディスクから読み込みます。

4.6 Advanced（詳細）画面

このセクションでは、以下のアイテムの設定ができます：CPU Configuration（CPU 設定）、Chipset Configuration（チップセット設定）、Storage Configuration,（ストレージ設定）、Super IO Configuration（スーパー IO 設定）、ACPI Configuration（ACPI 設定）、USB Configuration（USB 設定）、Trusted Computing（トラステッド・コンピューティング）。

このセクションで誤った値を設定すると、システムの誤作動の原因になることがあります。

UEFI Configuration（UEFI 設定）

UEFI セットアップスタイル

UEFI セットアップ ユーティリティに入ったときのデフォルトモードを選択します。

Active Page on Entry（開始時のアクティブページ）

UEFI セットアップ ユーティリティに入ったときのデフォルトページを選択します。

Full HD UEFI（フル HD UEFI）

「Auto（自動）」を選択すると解像度は 1920 x 1080 に設定されます。（ご使用のモニターがフル HD に対応している場合）もしモニターがフル HD 非対応であれば、解像度は 1024 x 768 に設定されます。「Disable（無効）」に設定すると、モニタの解像度は 1024 x 768 に設定されます。

4.6.1 CPU Configuration (CPU 設定)

Intel Hyper Threading Technology (Intel ハイパースレッディング技術)

Intel ハイパースレッディング技術により、各コアで複数のスレッドを実行し、スレッドソフトウェア上の全体的なパフォーマンスを向上することができます。

Active Processor Cores (アクティブ プロセッサー コア)

各プロセッサー パッケージで有効にするコアの数を選択します。

CPU C States Support (CPU の C ステートの有効化)

CPU の C ステートを有効にすると、電力消費が削減されます。C3、C6、および C7 を維持することをお勧めします。いずれも電力消費を最適に削減します。

Enhanced Halt State (C1E) (強化停止ステート (C1E))

電力消費を抑えます。

CPU C3 State Support (CPU の C3 ステートの有効化)

スリープさせ、電力消費を抑えます。

CPU C6 State Support (CPU の C6 ステートの有効化)

スリープさせ、電力消費を抑えます。

CPU C7 State Support (CPU の C7 ステートの有効化)

スリープさせ、電力消費を抑えます。

Package C State Support (パッケージの C ステートの有効化)

CPU、PCIe、メモリ、グラフィックの C 状態サポートを有効にすると、電力消費が削減されます。

CFG Lock (CFG ロック)

この項目で CFG Lock (CFG ロック) を無効または有効にできます。

CPU Thermal Throttling (CPU サーマル スロットリング)

CPU を過熱から保護するために、CPU 内部の熱制御メカニズムを有効にします。

Intel Virtualization Technology (Intel Virtualization テクノロジー)

Intel Virtualization のテクノロジーにより、プラットフォームに複数のオペレーティングシステムやアプリケーションを独立したパーティションで実行し、単一のコンピューターシステムを複数のバーチャルシステムとして機能させることができます。

Hardware Prefetcher (ハードウェア プリフェッチャー)

プロセッサーにデータとコードを自動的にプリフェッチし、パフォーマンスを向上します。

Adjacent Cache Line Prefetch (隣接するキャッシュラインのプリフェッチ)

現在要求されたキャッシュラインを取得しながら、後続のキャッシュラインを自動的にプリフェッチし、パフォーマンスを向上します。

Software Guard Extensions (ソフトウェア・ガードエクステンション) (SGX)

この項目を使用して、Software Controlled Software Guard Extensions (ソフトウェア制御ソフトウェア・ガードエクステンション) (SGX) を有効または無効にできます。

4.6.2 Chipset Configuration（チップセット設定）

Primary Graphics Adapter（プライマリ グラフィック アダプター）

プライマリ VGA を選択します。

Above 4G Decoding（4G を超えるデコーディング）

Above 4G Address Space（4G を超えるアドレス空間）でデコードする 64 ビット対応デバイスを有効または無効にします（システムが 64 ビット PCI デコーディングに対応する場合のみ）。

VT-d

I/O の仮想化を支援する Intel® Virtualization Technology for Directed I/O (VT-d) は、アプリケーションの互換性や信頼性を向上し、また管理性、セキュリティ、分離、および I/O 性能のレベルを高めることにより、バーチャルマシンモニターのハードウェアのさらなる活用を助けます。

PCIE1 Link Speed（PCIE1 リンク速度）

PCIE1 のリンク速度を選択します。

PCIE2 Link Speed（PCIE2 リンク速度）

PCIE2 のリンク速度を選択します。

PCIE3 Link Speed（PCIE3 リンク速度）

PCIE3 のリンク速度を選択します。

PCI Express Native Control (PCI Express ネイティブコントロール)

この項目を選択して OS 内のエンハンスド PCI Express 省電力モードを有効にします。

PCIE ASPM Support (PCIE ASPM サポート)

このオプションですべての CPU ダウンストリームデバイスの ASPM サポートを有効 / 無効にします。

PCH PCIE ASPM Support (PCH PCIE ASPM サポート)

このオプションですべての PCH PCIE デバイスの ASPM サポートを有効 / 無効にします。

DMI ASPM Support (DMI ASPM サポート)

このオプションで DMI リンクの CPU 側にある ASPM の制御を有効 / 無効にします。

PCH DMI ASPM Support (PCH DMI ASPM サポート)

このオプションですべての PCH DMI デバイスの ASPM サポートを有効 / 無効にします。

Share Memory (共有メモリ)

システムが起動したときに統合グラフィックス プロセッサーに割当てるメモリのサイズを設定します。

IGPU Multi-Monitor (IGPU マルチモニター)

外部グラフィックカードがインストールされている場合に、統合グラフィックスを無効にするには、無効を選択します。有効にすると、内蔵のグラフィックスを有効のまま保ちます。

Intel(R) Ethernet Connection I219-V (Intel(R) イーサネット・コネクション I219-V)

オンボードネットワークインターフェースコントローラ (Intel® I219V) を有効または無効にします。

Onboard HD Audio (内蔵 HD オーディオ)

内蔵の HD オーディオをオン / オフします。[Auto] (自動) に設定すると、内蔵の HD オーディオは有効化され、サウンドカードがインストールされたときにのみ自動的に無効にされます。

Front Panel (フロントパネル)

フロントパネルの HD オーディオをオン / オフします。

Onboard HDMI HD Audio (内蔵 HDMI HD オーディオ)

オーディオのデジタル出力が可能になります。

Onboard WAN Device (内蔵 WAN デバイス)

内蔵 WAN デバイス有効 / 無効にします。

WAN Radio (WAN ラジオ)

WiFi モジュールの接続を有効または無効にします。

Bluetooth (ブルートゥース)

ブルートゥース有効 / 無効にします。

Deep Sleep (デイープスリープ)

コンピューターがシャットダウンされたときの節電を目的としたディープスリープを設定します。

Restore on AC/Power Loss (AC/ 電源損失で復元)

停電後の電力状態を選択します。

[Power Off (電源オフ)]

この項目を選択すると、電力が回復しても電源はオフのままになります。

[Power On (電源オン)]

この項目を選択すると、電力が回復するとシステムが起動し始めます。

Turn On Onboard LED in S5 (S5 で LED をオンにします)

ACPI S5 ステートで LED をオン / オフにします。

Restore Onboard LED Default (オンボード LED デフォルトを復元する)

オンボード LED デフォルト値を復元します。

4.6.3 Storage Configuration（ストレージ設定）

SATA Controller(s)（SATA コントローラー）

SATA コントローラを有効 / 無効にします。

SATA Controller Speed（SATA コントローラスピード）

SATA コントローラが対応できる最大速度が表示されます。

SATA Mode Selection（SATA モード選択）

[AHCI] 性能を向上させる新しい機能に対応します。

[Intel RST Premium (RAID)] 複数のディスクドライブを論理ユニットに組み合わせます。

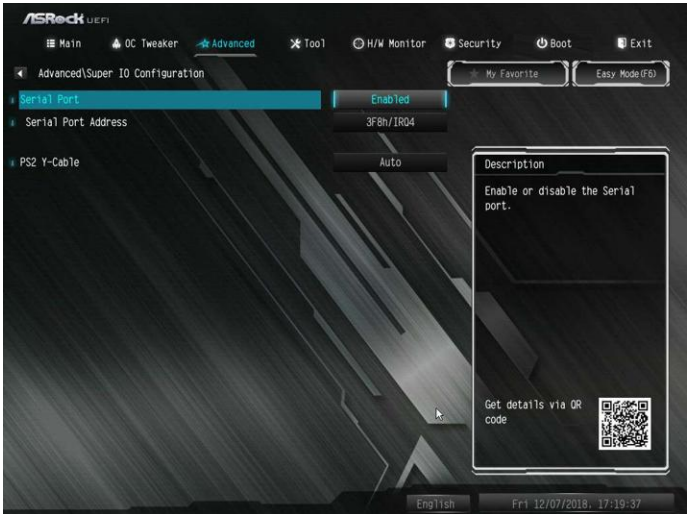
SATA Aggressive Link Power Management（SATA リンク電源積極管理）

これにより、非アクティブのときに SATA デバイスが低電力状態に入り、電力消費を削減します。AHCI モードでのみサポートされます。

Hard Disk S.M.A.R.T.（ハードディスク S.M.A.R.T.）

「S.M.A.R.T」は、Self-Monitoring（セルフモニタリング）、Analysis（分析）、Reporting（報告）、Technology（テクノロジー）を表します。コンピューターのハードディスク ドライブの監視システムであり、信頼性に関するさまざまな指標を検知して報告します。

4.6.4 Super IO Configuration（スーパー IO 設定）



Serial Port（シリアルポート）

シリアルポートを有効 / 無効にします。

Serial Port Address（シリアルポート アドレス）

シリアルポートのアドレスを選択します。

PS2 Y-Cable（PS2 Y ケーブル）

PS2 Y ケーブルを有効にするか、またはこのオプションを Auto（自動）に設定します。

日本語

4.6.5 ACPI Configuration (ACPI 設定)

Suspend to RAM (RAM へのサスペンド)

無効にすると、ACPI サスペンドタイプは S1 に設定されます。[Auto] (自動) として電力消費の少ない ACPI S3 を選択することをお勧めします。

ACPI HPET Table (ACPI HPET 表)

パフォーマンスを向上し、WHQL の認定を受けるため、[High Precision Event Timer (高精度イベントタイマー)] を有効にします。

PS/2 Keyboard Power On (PS/2 キーボードによる電源オン)

PS/2 キーボードでシステムを起動できるようになります。

[Disabled (無効)]

この項目を選択して、PS/2 Keyboard Power On (PS/2 キーボード電源オン) 機能を無効にします。

[Any Key (いずれかのキー)]

この項目を選択すると、PS/2 キーボード上のいずれかのキーをクリックしてシステムを再起動できます。

PCIE Devices Power On (PCIE デバイス電源オン)

PCIE デバイスでシステムを起動したり、ウェイクオンラン (Wake-On-LAN) を有効にできます。

I219 LAN Power On（I219 LAN 電源オン）

I219 LAN 電源オン起動できるようになります。

Ring-In Power On（RI による電源オン）

内蔵の COM ポートモデムの RI 入力信号でシステムを起動できるようになります。

RTC Alarm Power On（RTC アラームによる電源オン）

リアルタイム クロックのアラームでシステムを起動できるようになります。

[Disabled（無効）] この項目を選択して、RTC Alarm Power On（RTC アラーム電源オン）機能を無効にします。

[Enabled（有効）] この項目を選択して、RTC Alarm Power On（RTC アラーム電源オン）機能を有効にします。

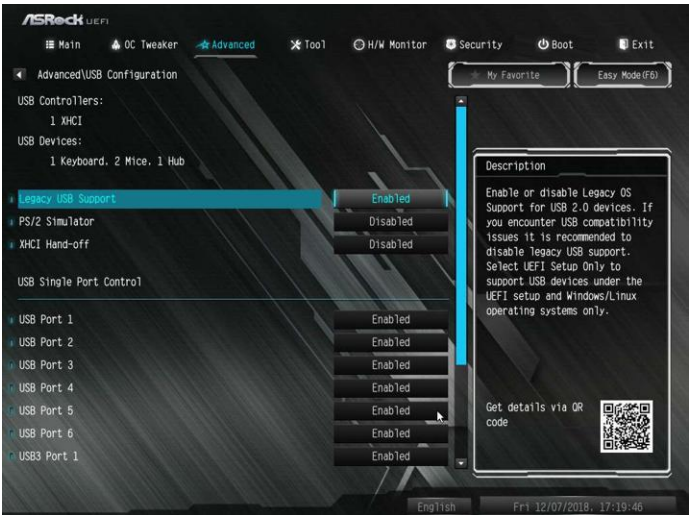
USB Keyboard/Remote Power On（USB キーボード / リモコンによる電源オン）

USB キーボードまたはリモコンでシステムを起動できるようになります。

USB Mouse Power On（USB マウスによる電源オン）

USB マウスでシステムを起動できるようになります。

4.6.6 USB Configuration (USB 設定)



Legacy USB Support (レガシー USB の有効化)

USB 2.0 デバイスのレガシー OS のサポートを有効 / 無効にします。USB の互換性に関する問題が発生した場合は、レガシー USB を無効にすることをお勧めします。

[Enabled (有効)] この項目を選択して、USB デバイスの Legacy OS (レガシー OS)
サポートを有効にします。

[Disabled (無効)] この項目を選択して、USB デバイスの Legacy OS (レガシー OS)
サポートを無効にします。

[UEFI Setup Only (UEFI セットアップのみ)] この項目を選択して、UEFI セットアップおよび Windows/Linux オペレーティングシステムでのみ USB デバイスに対応するようにします。

PS/2 Simulator (PS/2 シミュレータ)

PS/2 シミュレータを有効にします。これは USB 非対応 OS 向けの完全 USB キーボードレガシーサポート用に有効にします。

XHCI Hand-off (XHCI ハンドオフ)

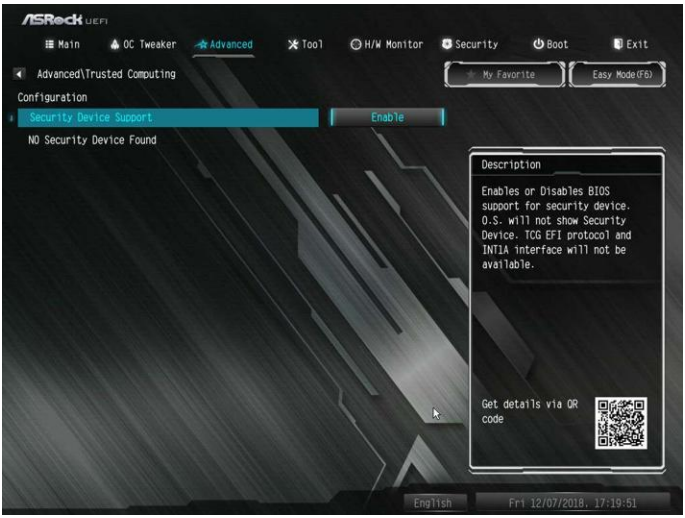
これは XHCI ハンドオフ機能に対応していない OS (オペレーティングシステム)

向けの応急措置です。XHCI オーナーシップの変更は XHCI ドライバで請求します。デフォルトではこの項目は [Disabled（無効）] に設定されています。

[Enabled（有効）]
XHCI に対応しないオペレーティングシステムでは BIOS で XHCI に対応します。

[Disabled（無効）]
XHCI に対応するオペレーティングシステムでは XHCI ドライバで XHCI に対応します。

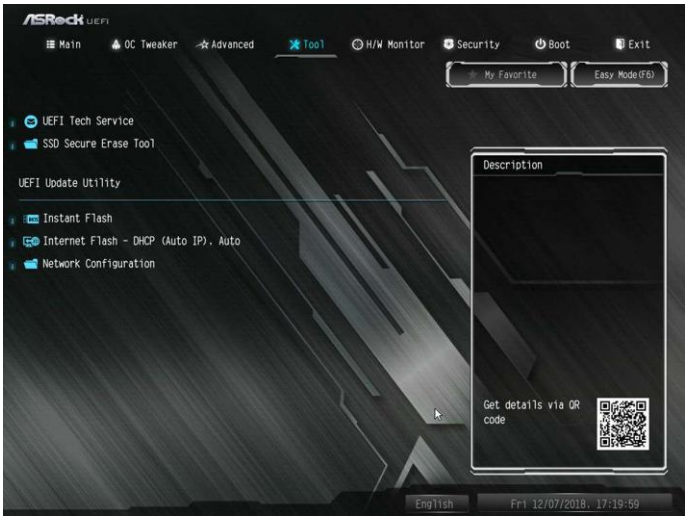
4.6.7 Trusted Computing (トラステッド・コンピューティング)



Security Device Support (セキュリティ デバイス サポート)

セキュリティ デバイスの BIOS サポートを有効または無効にします。

4.7 Tools（ツール）



UEFI Tech Service（UEFI テクニカルサービス）

お使いの PC で問題が発生した場合は、ASRock のテクニカルサービスにお問い合わせください。[UEFI Tech Service]（UEFI テクニカルサービス）を利用するには、まずネットワークの設定をする必要があります。

HDD Secure Erase（HDD セキュア消去）

Secure Erase（セキュア消去）機能に対応するすべての HDD が記載されています。

Instant Flash（イン スタント フラッシュ）

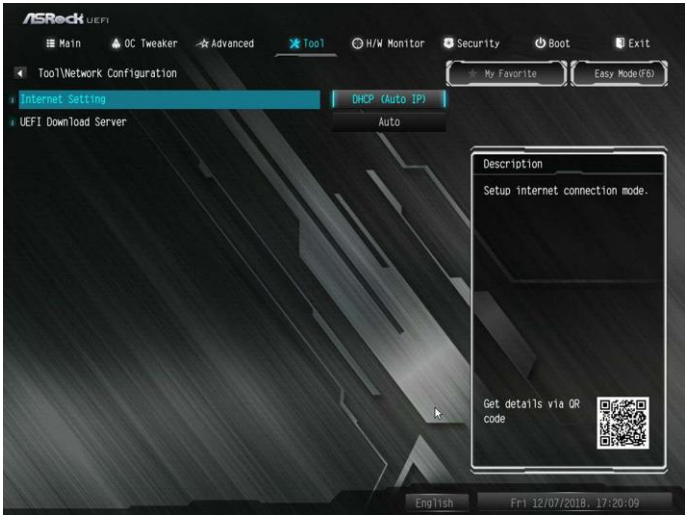
UEFI ファイルを USB ストレージ デバイスに保存し、[Instant Flash（インスタント フラッシュ）] を実行すると、UEFI が更新されます。

Internet Flash（インターネットフラッシュ）- DHCP（自動 IP）、AUTO（自動）

ASRock の [Internet Flash]（インターネット フラッシュ）は、サーバーから最新の UEFI ファームウェアをダウンロードして更新します。[Internet Flash]（インターネット フラッシュ）を利用するには、まずネットワークの設定をする必要があります。
*BIOS のバックアップとリカバリー用に、この機能を使用する前に、USB ペン ドライブを差し込むことをお勧めします。

Network Configuration（ネットワーク設定）

[Internet Flash]（インターネット フラッシュ）で必要なインターネット接続を設定します。



Internet Setting（インターネット設定）

セットアップ ユーティリティでのサウンドエフェクトをオン / オフします。

UEFI Download Server（UEFI ダウンロード サーバー）

UEFI ファームウェアをダウンロードするサーバーを選択します。

4.8 Hardware Health Event Monitoring（ハードウェア ヘルス イベント監視）画面

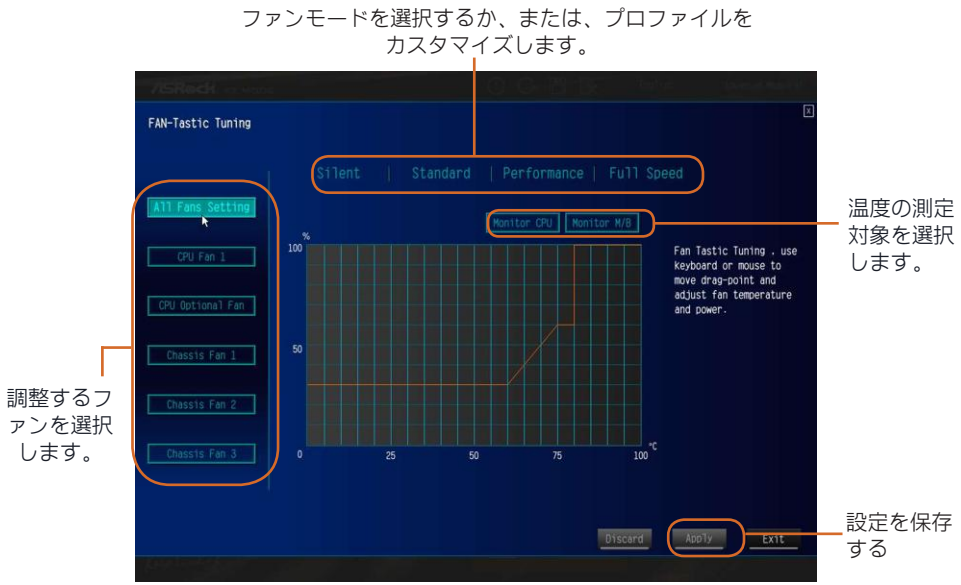
このセクションでは、CPU 温度、マザーボード温度、ファン速度、および電圧などのパラメーターを含め、システムのハードウェアのステータスを監視できます。

Fan Tuning（ファン・チューニング）

ファンの最小デューティサイクルを測定します。

Fan-Tastic Tuning（ファン調整）

グラフを使用して、最大 5 種類のファン速度が設定できます。割当てられた温度に達すると、ファンは次の速度レベルへと自動的にシフトします。



CPU Fan 1 Setting（CPU ファン 1 設定）

CPU ファン 1 のファンモードを選択します。または [Customize（カスタマイズ）] を選択すると、5 つの CPU 温度を設定し、各温度に対してそれぞれファン速度を割当てることができます。

設定オプション：
[Customize（カスタマイズ）] [Silent Mode（サイレントモード）] [Standard Mode（標準モード）] [Performance Mode（性能モード）] [Full Speed（最高速度）]

CPU Fan 1 Step Up（CPU ファン 1 ステップアップ）

CPU Fan 1 Step Up（CPU ファン 1 ステップアップ）の値を設定します。デフォルト設定は [0 Sec（0 秒）] です。

CPU Fan 1 Step Down（CPU ファン 1 ステップダウン）

CPU Fan 1 Step Down（CPU ファン 1 ステップダウン）の値を設定します。デフォルト設定は [0 Sec（0 秒）] です。

CPU_FAN2 / W_Pump 切り替え

CPU またはウォーターポンプモードを選択します。

CPU Fan 2 Control Mode (CPU Fan 2 制御モード)

CPU Fan 2 の PWM モードまたは DC モードを選択します。

[DC Mode (DC モード)] 3 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

[PWM Mode (PWM モード)] 4 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

CPU Fan 2 Setting (CPU Fan 2 設定)

CPU Fan 2 のファンモードを選択します。または、Customize (カスタマイズ) を選択して 5 つの CPU 温度を設定し、各温度に対してそれぞれのファン速度を割り当てます。

[Customize (カスタマイズ)] [Silent Mode (サイレントモード)] [Standard Mode (標準モード)] [Performance Mode (性能モード)] [Full Speed (最高速度)]

CPU Fan 2 Temp Source (CPU Fan 2 温度ソース)

CPU Fan 2 のファン温度ソースを選択します。

[Monitor CPU (CPU を監視する)] この項目を選択して、CPU を温度の測定対象として設定します。

[Monitor M/B (マザーボードを監視する)] この項目を選択して、マザーボードを温度の測定対象として設定します。

CPU Fan 2 Step Up (CPU Fan 2 ステップアップ)

CPU Fan 2 Step Up (CPU Fan 2 ステップアップ) の値を設定します。デフォルト設定は [0 Sec (0 秒)] です。

CPU Fan 2 Step Down (CPU Fan 2 ステップダウン)

CPU Fan 2 Step Down (CPU Fan 2 ステップダウン) の値を設定します。デフォルト設定は [0 Sec (0 秒)] です。

CHA_FAN1 / W_PUMP 切り替え

CHA_FAN1/CPU オプションモードまたはウォーターポンプモードを選択します。

Chassis Fan 1 Control Mode (シャーシファン 1 制御モード)

シャーシファン 1 の PWM モードまたは DC モードを選択します。

[DC Mode (DC モード)] 3 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

[PWM Mode (PWM モード)] 4 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

Chassis Fan 1 Setting (シャーシファン 1 設定)

シャーシファン 1 のファンモードを選択します。または [Customize (カスタマイズ)] を選択すると、5 つの CPU 温度を設定し、各温度に対してそれぞれファン速度を割当てることができます。

[Customize (カスタマイズ)] [Silent Mode (サイレントモード)] [Standard Mode (標準モード)] [Performance Mode (性能モード)] [Full Speed (最高速度)]

Chassis Fan 1 Temp Source (シャーシファン 1 温度ソース)

シャーシファン 1 のファン温度ソースを選択します。

[Monitor CPU (CPU を監視する)] この項目を選択して、CPU を温度の測定対象として設定します。

[Monitor M/B (マザーボードを監視する)] この項目を選択して、マザーボードを温度の測定対象として設定します。

Chassis Fan 1 Step Up (シャーシファン 1 ステップアップ)

Chassis Fan 1 Step Up (シャーシファン 3 ステップアップ) の値を設定します。デフォルト設定は [0 Sec (0 秒)] です。

Chassis Fan 1 Step Down (シャーシファン 1 ステップダウン)

Chassis Fan 1 Step Down (シャーシファン 3 ステップダウン) の値を設定します。デフォルト設定は [0 Sec (0 秒)] です。

CHA_FAN2 / W_PUMP 切り替え

CHA_FAN2/CPU オプションモードまたはウォーターポンプモードを選択します。

Chassis Fan 2 Control Mode (シャーシファン 2 制御モード)

シャーシファン 2 の PWM モードまたは DC モードを選択します。

[DC Mode (DC モード)] 3 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

[PWM Mode (PWM モード)] 4 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

Chassis Fan 2 Setting (シャーシファン 2 設定)

シャーシファン 2 のファンモードを選択します。または [Customize (カスタマイズ)] を選択すると、5 つの CPU 温度を設定し、各温度に対してそれぞれファン速度を割当てることができます。

[Customize（カスタマイズ）] [Silent Mode（サイレントモード）] [Standard Mode（標準モード）] [Performance Mode（性能モード）] [Full Speed（最高速度）]

Chassis Fan 2 Temp Source（シャーシファン 2 温度ソース）

シャーシファン 2 のファン温度ソースを選択します。

[Monitor CPU（CPU を監視する）] この項目を選択して、CPU を温度の測定対象として設定します。

[Monitor M/B（マザーボードを監視する）] この項目を選択して、マザーボードを温度の測定対象として設定します。

Chassis Fan 2 Step Up（シャーシファン 2 ステップアップ）

Chassis Fan 2 Step Up（シャーシファン 3 ステップアップ）の値を設定します。デフォルト設定は [0 Sec（0 秒）] です。

Chassis Fan 2 Step Down（シャーシファン 2 ステップダウン）

Chassis Fan 2 Step Down（シャーシファン 3 ステップダウン）の値を設定します。デフォルト設定は [0 Sec（0 秒）] です。

CHA_FAN3 / W_Pump Switch（CHA_FAN3 / W_Pump 切り替え）

Chassis Fan 3 オプションモードまたはウォーターポンプモードを選択します。

Chassis Fan 3 Control Mode（シャーシファン 3 制御モード）

シャーシファン 3 の PWM モードまたは DC モードを選択します。

[DC Mode（DC モード）] 3 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

[PWM Mode（PWM モード）] 4 ピンファンの場合はこのモードを選択します。

Chassis Fan 3 Setting（シャーシファン 3 設定）

シャーシファン 3 のファンモードを選択します。または [Customize（カスタマイズ）] を選択すると、5 つの CPU 温度を設定し、各温度に対してそれぞれファン速度を割当てることができます。

[Customize（カスタマイズ）] [Silent Mode（サイレントモード）] [Standard Mode（標準モード）] [Performance Mode（性能モード）] [Full Speed（最高速度）]

Chassis Fan 3 Temp Source（シャーシファン 3 温度ソース）

シャーシファン 3 のファン温度ソースを選択します。

[Monitor CPU (CPU を監視する)] この項目を選択して、CPU を温度の測定対象として設定します。

[Monitor M/B (マザーボードを監視する)] この項目を選択して、マザーボードを温度の測定対象として設定します。

Chassis Fan 3 Step Up (シャーシファン 3 ステップアップ)

Chassis Fan 3 Step Up (シャーシファン 1 ステップアップ) の値を設定します。デフォルト設定は [0 Sec (0 秒)] です。

Chassis Fan 3 Step Down (シャーシファン 3 ステップダウン)

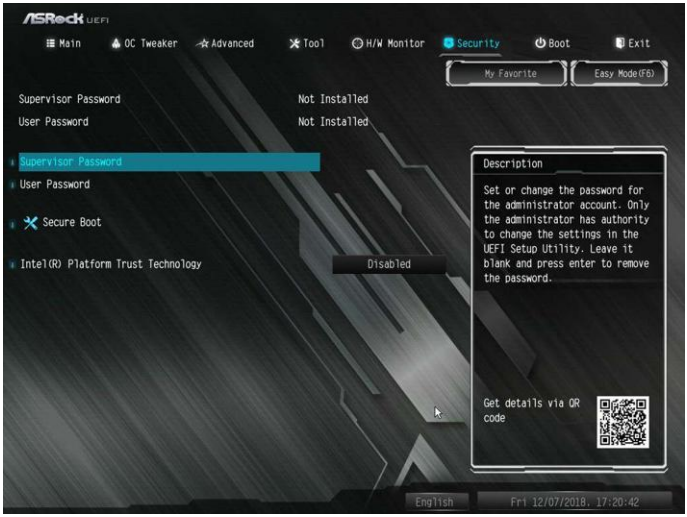
Chassis Fan 3 Step Down (シャーシファン 1 ステップダウン) の値を設定します。デフォルト設定は [0 Sec (0 秒)] です。

Case Open Feature (ケースの開閉検知機能)

有効 / 無効が選択可能。有効にするとケースカバーが取り外されていないかを検知します。

4.9 Security（セキュリティ）画面

このセクションでは、システムのスーパーバイザーまたはユーザーのパスワードを設定および変更できます。ユーザー パスワードを消去することもできます。



Supervisor Password（スーパーバイザー パスワード）

管理者アカウントのパスワードを設定または変更します。管理者のみに、UEFI セットアップ ユーティリティの設定を変更する権限があります。パスワードを消去するには、空欄にして <Enter> を押します。

User Password（ユーザー パスワード）

ユーザー アカウントのパスワードを設定または変更します。ユーザーは、UEFI セットアップ ユーティリティの設定を変更することはできません。パスワードを消去するには、空欄にして <Enter> を押します。

Secure Boot（セキュア ブート）

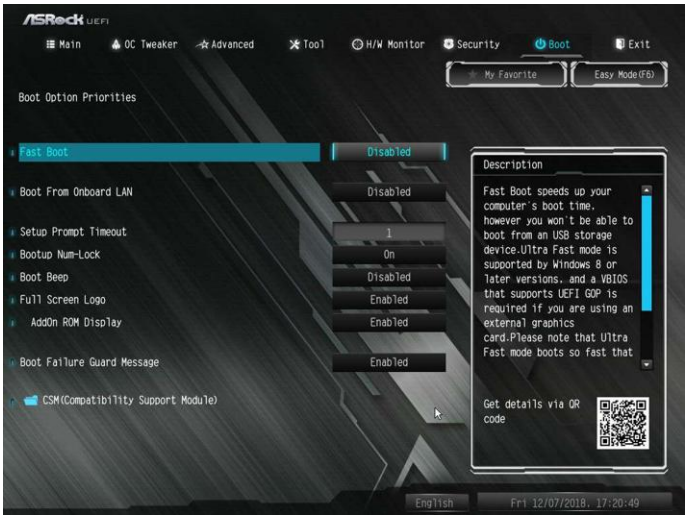
この項目を使用して Secure Boot（セキュアブート）のサポートを有効または無効にします。

Intel(R) Platform Trust Technology (Intel(R) プラットフォーム・トラスト・テクノロジー)

ME で Intel PTT を有効 / 無効にします。ディスクリート型 TPM モジュールを使用する場合はこのオプションを無効にします。

4.10 Boot（ブート）画面

このセクションは、ブートおよびブート優先順位の設定ができる、システム上のデバイスを表示します。



Fast Boot（高速ブート）

コンピューターのブート時間を最小化します。高速モードでは、USB ストレージ デバイスからブートすることはできません。外付けグラフィックスカードを使用する場合は、VBIOS は UEFI GOP に対応しなければなりません。超高速モードは、この UEFI セットアップ ユーティリティで CMOS を消去したり、Windows で UEFI に再起動したりするためにのみ使用する高速ブートですので、ご注意ください。

Boot From Onboard LAN（内蔵 LAN からのブート）

内蔵の LAN でシステムをウェイクアップできるようになります。

Setup Prompt Timeout（設定プロンプトのタイムアウト）

ホットキー設定のための待機時間を秒数で指定します。

Bootup Num-Lock（起動時の数値ロック）

起動時にテンキーに数値ロックをかけるかを選択します。

Boot Beep（ブート ビープ音）

起動時にビープ音をならすかを選択します。ブザーが必要になります。

Full Screen Logo (全画面ロゴ)

有効にすると、ブートロゴが表示され、無効にすると通常の POST メッセージが表示されます。

AddOn ROM Display (アドオン ROM 表示)

有効にすると、アドオン ROM メッセージが表示されます。また [Full Screen Logo (全画面ロゴ)] が有効の場合は、アドオン ROM の設定もできます。ブート速度を重視する場合は、無効にします。

Boot Failure Guard Message (ブートフェイラーガードメッセージ)

コンピューターが何度もブートに失敗すると、システムがデフォルトの設定を自動的に復元します。

CSM: Compatibility Support Module (CSM：互換性サポートモジュール)

CSM

[Compatibility Support Module (互換性サポート モジュール)] を起動します。WHCK テストを実行している場合以外は、無効にしないでください。なお、Windows 8.1 64- ビットをお使いで、すべてのデバイスが UEFI に対応している場合は、CSM を無効にすることでブート時間を高速化できます。

Launch PXE OpROM Policy (PXE OpROM ポリシーの起動)

[UEFI only (UEFI のみ)] この項目を選択して、UEFI オプション ROM に対応するものだけを実行します。

[Legacy only (レガシーのみ)] この項目を選択して、レガシーオプション ROM に対応するものだけを実行します。

[Do not launch (開始しない)] この項目を選択して、レガシーオプション ROM と UEFI オプション ROM の両方を実行しないようにします。

Launch Storage OpROM Policy (ストレージ OpROM ポリシーの起動)

[UEFI only (UEFI のみ)] この項目を選択して、UEFI オプション ROM に対応するものだけを実行します。

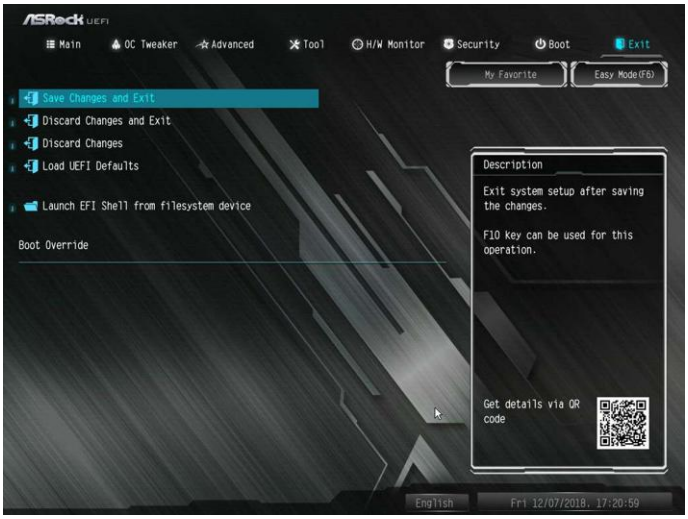
[Legacy only (レガシーのみ)] この項目を選択して、レガシーオプション ROM に対応するものだけを実行します。

[Do not launch (開始しない)] この項目を選択して、レガシーオプション ROM と UEFI オプション ROM の両方を実行しないようにします。

Other PCI Device ROM Priority (その他の PCI デバイス ROM 優先順位)

ネットワーク以外のその他の PCI デバイス向けです。マスストレージまたはビデオが開始する OpROM を定義します。

4.11 Exit（終了）画面



Save Changes and Exit（変更を保存して終了）

このオプションを選択すると、「Save configuration changes and exit setup?（設定の変更を保存して設定を終了しますか？）」というメッセージが表示されます。変更を保存して UEFI セットアップ ユーティリティを終了するには、[OK] を選択します。

Discard Changes and Exit（変更を保存しないで終了）

このオプションを選択すると、「Discard changes and exit setup?（設定の変更を保存しないで終了しますか？）」というメッセージが表示されます。変更を保存することなく、UEFI セットアップ ユーティリティ を終了するには、[OK] を選択します。

Discard Changes（変更を破棄）

このオプションを選択すると、 「Discard changes?（変更を破棄しますか？）」というメッセージが表示されます。すべての変更を破棄するには、[OK] を選択します。

Load UEFI Defaults (UEFI デフォルトの読込み)

すべてのオプションで既定値を読み込みます。この操作には <F9> キーをショートカットとして使用できます。

Launch EFI Shell from filesystem device（ファイルシステムデバイスから EFI シェルを起動）

ルート ディレクトリへ shellx64.efi をコピーして、EFI シェルを起動します。

P/N: 15G062168010AK V1.0

連絡先情報

ASRock に連絡する必要がある場合、または、ASRock に関する詳細情報をお知りになりたい場合は、ASRock のウェブサイト http://www.asrock.com をご覧になるか、または、詳細情報について弊社取扱店までお問い合わせください。技術的なご質問がある場合は、https://event.asrock.com/tsd.asp でサポートリクエスト用紙を提出してください。

ASRock Incorporation

2F., No.37, Sec.2, Jhongyang S. Rd., Beitou District,

Taipei City 112, Taiwan (R.O.C.)

ASRock EUROPE B.V.

Bijsterhuizen 11-11

6546 AR Nijmegen

The Netherlands

Phone:+31-24-345-44-33

Fax:+31-24-345-44-38

ASRock America, Inc.

13848 Magnolia Ave, Chino, CA91710

U.S.A.

Phone:+1-909-590-8308

Fax:+1-909-590-1026